
概 要

青森県立保健大学の教育理念

〔学部 健康科学部〕

4学科独自のカリキュラムを履修することにより「専門性 (Professionality)」を育み、さらに専門性を尊重しながら「連携・協調 (Coordination・Collaboration)」を図り、「Human care」を実践・統合できる人材育成を目指しています。

「Human care」を通し、「健康と生活の質の向上」に貢献できる看護師、保健師、助産師、理学療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、管理栄養士を養成します。

1. 人間性豊かな人材の育成

生命に対する深い畏敬の念と論理観に満ち、ケアの対象である人間を総合的に把握し、かつ理解できる幅広い教養を身につけた人間性豊かな人材の育成を目指します。

2. 保健医療福祉の発展に寄与できる人材の育成

看護、理学療法、社会福祉、栄養のそれぞれの専門性に基づいて、広く全般的な相互理解を深め、保健医療福祉の連携・協力に向けて、その能力を発揮し、中核的な役割を果たすことのできる人材の育成を目指します。

3. 地域特性へ対応できる人材の育成

全国平均を上回る高齢化の進行、成人病による死亡率や乳幼児死亡率が高い青森県の課題の解決に向け、気候、風土、生活習慣などの地域の特性を理解し、それを考慮しながら問題解決へのアプローチができる人材の育成を目指します。

4. グローバル化への対応

外国語等のコミュニケーション手段を用い、国際交流の場において、その風土・歴史・人・文化を理解し、グローバルな視野をもって活躍できる人材の育成を目指します。

5. 地域社会への貢献

地域で生活する住民の方々が持つ多様な保健医療福祉ニーズに応え、公開講座や地域の専門分野との共同研究など、生涯学習の中核としての機能を持たせるとともに、大学が持つ専門機能や施設・設備を広く県民に開放して、「開かれた大学」を目指します。

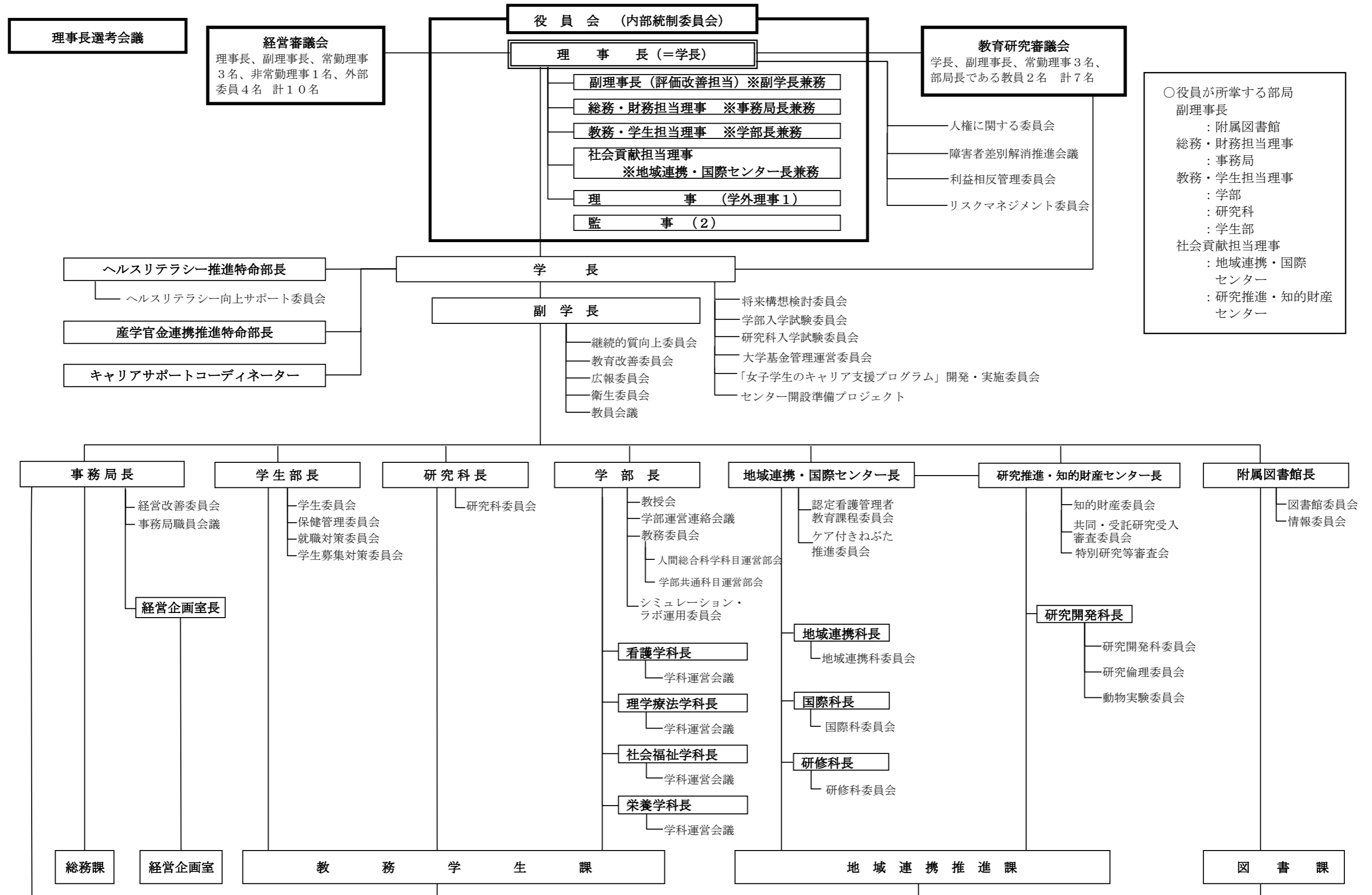
〔大学院 健康科学研究科〕

生命の尊重と個人の尊厳を基本とし、独創的な研究活動を通して社会の発展と人類の幸福に寄与できる研究者及び教育者の育成、ならびに、保健医療福祉の連携・統合をはかる教育を推進して人間性豊かな高度専門職業人を育成します。

博士前期課程においては、主として研究能力を備えた高度専門職業人の育成を目指し、博士後期課程においては、博士前期課程で獲得した能力を基礎とし、自立した研究者として学問の発展性を追求し、かつ分野を超えた開拓的研究活動を行い、さらに、高度な専門的業務に豊かな学識を適用し、保健医療福祉の分野で活躍できる有為な教育者ならびに知的技術者を育成します。

令和元年度 公立大学法人青森県立保健大学 運営組織図

R1.9.1



教 育 活 動

【看護学科履修表(学則別表5カリキュラム)】

対象学生:平成30年度以後に入学する学生、平成32年度以後に看護学科に編入する学生

<人間総合科学科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
人間総合科学科目	人間と存在	1 思想と歴史	講義		2	←→									4単位以上選択
		2 人間と歴史	講義		2	←→									
		3 キャリアデザイン	講義		2	←→									
		4 教育と人間	講義		2	←→									
		5 個人と組織	講義		2	←→									
		6 生涯スポーツ	演習		2		←→								
		7 生涯発達とライフスタイル	講義		2		←→								
		8 人間と心理	講義		2		←→								
		9 人間関係論	講義		2				←→						
科学と論理	1 ラーニングスキル	演習	1		←→									2単位必修 2単位以上選択	
	2 人間総合科学演習	演習	1		←→										
	3 統計リテラシー	講義		1	←→										
	4 英語リーディング	講義		1	←→										
	5 医療系科学の基礎	講義		1	←→										
	6 情報機器の操作(Ⅰ)	講義		1	←→										
	7 情報機器の操作(Ⅱ)	講義		1		←→									
	8 科学と創造(理論編)	講義		1		←→									
	9 科学と創造(実践編)	講義		1		←→									
	10 調査と科学的方法	講義		1		←→									
	11 生活と化学	講義		1				←→							
芸術と創造	1 人間と音楽	演習		1			←→							1単位以上選択	
	2 人間と美術	演習		1			←→								
	3 人間と文学	演習		1			←→								
	4 人間と演劇	演習		1			←→								
現代社会と生活	1 生活と環境	講義		2		←→								4単位以上選択	
	2 情報社会と対人援助	講義		2		←→									
	3 災害と地域	講義		2		←→									
	4 青森の風土と生活	講義		2		←→									
	5 社会の動態と生活形態	講義		2		←→									
	6 社会生活と法	講義		2		←→									
	7 メディアリテラシー	講義		2		←→									
	8 経済と生活	講義		2			←→								
	9 グローバル社会と文化	講義		2			←→								
	10 ジェンダーと社会	講義		2			←→								
言語とコミュニケーション	1 人間関係とコミュニケーションA	講義		2				←→						8単位必修 No.7~12のうち、2単位以上選択	
	2 English 1	演習		2		←→									
	3 English 2	演習		2			←→								
	4 English 3	演習		1				←→							
	5 English 4	演習		1					←→						
	6 English Communication	演習		2		←→		←→		←→		←→			
	7 韓国文化と言語	講義		2		←→									
	8 中国文化と言語	講義		2		←→									
	9 ロシア文化と言語	講義		2			←→								
	10 スペイン文化と言語	講義		2		←→									
	11 ろう文化と手話	講義		2			←→								
	12 フランス文化と言語	講義		2		←→									
人間総合科学科目 合計												必修10単位 選択13単位以上 計 23単位以上			

<健康科学部共通科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件		
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
健康科学部共通科目	ヘルスリテラシー科目	1	ヘルスプロモーション概論	講義	2		←→								9単位必修	
		2	ヘルスプロモーション演習	演習	1		←→									
		3	健康情報リテラシー	講義	1			←→								
		4	職業倫理とヘルスコミュニケーション	講義	1				←→							
		5	セーフティプロモーション	講義	1					←→						
		6	地域包括支援論	講義	1						←→					
		7	ヘルスケアマネジメント論	講義	1								←→			
		8	ヘルスケアマネジメント実習	実習	1									←→		
共通選択科目	1	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	講義		1		←→		←→		←→		←→	2単位以上選択		
	2	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	3	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	4	理学療法原論	講義		1	←→										
	5	一般臨床医学	講義		1		←→									
	6	画像診断学	講義		1				←→							
	7	神経内科学	講義		2				←→							
	8	障害予防概論	演習		1					←→						
	9	家族社会学	講義		2		←→									
	10	行政法	講義		2			←→								
	11	ボランティア活動支援論	講義		2		←→									
	12	女性福祉論	講義		2			←→								
	13	医療福祉論	演習		2					←→						
	14	日本国憲法	講義		2		←→									
	15	食品機能論	講義		1						←→					
補強学習科目	1	生物の基礎	講義				←→							3年次編入生のみ申請により各1単位認定		
	2	化学の基礎	講義				←→									
	3	物理の基礎	講義				←→									
健康科学部共通科目 合計												必修9単位 選択2単位以上 計 11単位以上				

<専門科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		開講時期								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門科目 専門支持科目	1	人体構造学	演習	1	←										19単位必修 2単位以上選択
	2	人体機能学	演習	1	←										
	3	生命基礎科学	演習	1		→									
	4	感染免疫学	演習	1		→									
	5	公衆衛生学	講義	2		→									
	6	病理病態学	演習	1			←								
	7	薬理学	講義	1				→							
	8	臨床薬理学	講義	1					→						
	9	栄養代謝学	講義	1				←							
	10	成人疾病治療論Ⅰ	講義	1				←							
	11	成人疾病治療論Ⅱ	講義	2				←							
	12	老年学	講義	1				←							
	13	母性疾病治療論	演習	1					←						
	14	小児疾病治療論	演習	1						←					
	15	精神健康論	講義	1			→								
	16	精神疾病治療論	講義	1				←							
	17	保健福祉行政論	講義	1					←						
	18	疫学(PHN)	講義	2				←							
	19	グローバルヘルス	講義	1	←										
	20	バイオエシックス	講義	1	←										
	21	カウンセリング概論	講義	1	←										
	22	性とセクシュアリティ	講義	1		→									
	23	救急医学概論	講義	1	1				←						
基幹科目	1	看護学概論Ⅰ	講義	1	←									57単位必修	
	2	看護学概論Ⅱ	講義	1	←										
	3	看護形態機能学	講義	1		→									
	4	実践基礎看護技術Ⅰ	演習	3	←										
	5	実践基礎看護技術Ⅱ	演習	1		→									
	6	実践基礎看護技術Ⅲ	講義	1			←								
	7	ヘルスアセスメントⅠ	演習	1			←								
	8	ヘルスアセスメントⅡ	講義	1			←								
	9	ヘルスアセスメントⅢ	講義	1				←							
	10	看護過程	講義	1		→									
	11	看護過程演習	演習	1			←								
	12	健康教育論	演習	1			←								
	13	経過別看護援助論	講義	2			←								
	14	人間発達援助論	講義	1		→									
	15	家族援助論	演習	1				←							
	16	成人看護援助論Ⅰ	講義	1				←							
	17	成人看護援助論Ⅱ	講義	1				←							
	18	成人看護援助論Ⅲ	講義	1					←						
	19	成人看護援助論Ⅳ	講義	1					←						
	20	実践経過別看護演習	演習	1				←							
	21	老年看護学概論	講義	1			←								
22	老年看護援助論	演習	1			←									
23	母性看護学概論	講義	1			←									
24	母性看護援助論	演習	1				←								
25	小児看護学概論	講義	1			←									
26	小児看護援助論	演習	1				←								
27	精神看護学概論	講義	1			←									
28	精神看護援助論	演習	1				←								
29	在宅看護学概論	講義	1				←								
30	在宅看護援助論Ⅰ	講義	1					←							
31	在宅看護援助論Ⅱ	演習	1						←						
32	地域看護学	講義	2					←							
33	看護関係法規	講義	1				←								
34	災害看護学	講義	1						←						
35	基礎看護実習Ⅰ	実習	2		→										
36	基礎看護実習Ⅱ	実習	2			←									
37	経過別看護援助実習(急性期・回復期)	実習	2					←	→						
38	経過別看護援助実習(慢性期)	実習	2						←	→					
39	発達援助実習(老年看護)	実習	2					←	→						
40	発達援助実習(小児看護)	実習	2					←	→						
41	発達援助実習(母性看護)	実習	2					←	→						
42	発達援助実習(精神看護)	実習	2						←	→					
43	地域看護学実習	実習	1							←					
44	在宅看護実習	実習	2								←				

専門科目	展開科目	1	認知症高齢者ケア	講義	1				←			(1単位以上選択)	
		2	コンプリメンタリーセラピー	講義	1				←				
		3	母性心理社会学(M)	講義	1				←				(3単位以上選択)
		4	ペリネイタルケア (M)	講義	1				←				
		5	女性のヘルスケア (M)	講義	1				←				
		6	周産期医学Ⅰ (M)	講義	1				←				
		7	周産期医学Ⅱ (M)	講義	1				←				
		8	クリティカルケア	講義	1				←				
		9	リハビリテーションケア	講義	1				←				
		10	がん看護	講義	1				←				
		11	スキンケア論	講義	1				←				
		12	ペイシェントセーフティ	講義	1				←				
		13	看護倫理学	講義	1				←				
		14	看護理論	講義	1				←				
		15	看護教育学	講義	1				←				
		16	看護情報学	講義	1				←				
		17	健康政策学(PHN)	講義	1				←				
		18	応用看護技術	講義	1				←				
		19	応用精神看護技術	講義	1				←				
		20	アドバンスド小児ヘルスケア	講義	1				←				
		21	実践災害看護	講義	1				←				
		22	国際看護学	講義	1				←				
		23	看護研究方法論	演習	1				←				
		24	看護マネジメント論	講義	1				←				
		25	看護マネジメント演習	演習	1				←				
		26	看護マネジメント実習	実習	2				←				
		27	看護統合実習	実習	1				←				
		28	卒業研究	演習	2				←				
保健学コース	1	保健統計学	講義	1				←			保健学コース(選択)は、上記に加えて7科目12単位必修		
	2	個人・家族・集団の生活支援論	講義	2				←					
	3	地域保健活動論	講義	2				←					
	4	地域保健管理論	講義	2				←					
	5	地域保健研究論	講義	1				←					
	6	地域保健継続実習	実習	1				←					
	7	地域保健展開実習	実習	3				←					
助産学コース	1	地域保健活動論	講義	2				←			助産学コース(選択)は、上記に加えて9科目19単位必修		
	2	助産学概論	講義	2				←					
	4	助産診断・技術学(妊娠期)	講義	2				←					
	5	助産診断・技術学(産褥・新生児期)	講義	2				←					
	6	助産診断・技術学(分娩期)	講義	2				←					
	7	助産診断・技術学演習	演習	1				←					
	8	助産管理	講義	1				←					
	9	助産学実習Ⅰ	実習	1				←					
	10	助産学実習Ⅱ	実習	6				←					
	専門科目 合計											84単位必修 7単位以上選択 計 91単位以上	
卒業要件単位											125単位以上		

注) 授業科目名中、(PHN)の表示がある科目は、保健学コース(選択)必修科目。

注) 授業科目名中、(M)の表示がある科目は、助産学コース(選択)必修科目。

【理学療法学科履修表(学則別表5カリキュラム)】

対象学生:平成30年度以後に入学する学生、平成32年度以後に理学療法学科に編入する学生

<人間総合科学科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
人間総合科学科目	人間と存在	1 思想と歴史	講義		2	←→									4単位以上選択
		2 人間と歴史	講義		2	←→									
		3 キャリアデザイン	講義		2	←→									
		4 教育と人間	講義		2	←→									
		5 個人と組織	講義		2	←→									
		6 生涯スポーツ	演習		2		←→								
		7 生涯発達とライフスタイル	講義		2		←→								
		8 人間と心理	講義		2		←→								
		9 人間関係論	講義		2				←→						
科学と論理	1 ラーニングスキル	演習	1		←→									2単位必修 2単位以上選択	
	2 人間総合科学演習	演習	1		←→										
	3 統計リテラシー	講義		1	←→										
	4 英語リーディング	講義		1	←→										
	5 医療系科学の基礎	講義		1	←→										
	6 情報機器の操作(I)	講義		1	←→										
	7 情報機器の操作(II)	講義		1		←→									
	8 科学と創造(理論編)	講義		1		←→									
	9 科学と創造(実践編)	講義		1		←→									
	10 調査と科学的方法	講義		1		←→									
	11 生活と化学	講義		1				←→							
芸術と創造	1 人間と音楽	演習		1			←→							1単位以上選択	
	2 人間と美術	演習		1			←→								
	3 人間と文学	演習		1			←→								
	4 人間と演劇	演習		1			←→								
現代社会と生活	1 生活と環境	講義		2		←→								4単位以上選択	
	2 情報社会と対人援助	講義		2		←→									
	3 災害と地域	講義		2		←→									
	4 青森の風土と生活	講義		2		←→									
	5 社会の動態と生活形態	講義		2		←→									
	6 社会生活と法	講義		2		←→									
	7 メディアリテラシー	講義		2		←→									
	8 経済と生活	講義		2			←→								
	9 グローバル社会と文化	講義		2			←→								
	10 ジェンダーと社会	講義		2			←→								
言語とコミュニケーション	1 人間関係とコミュニケーションB	講義		2					←→					8単位必修 No.7~12のうち、2単位以上選択	
	2 English 1	演習		2		←→									
	3 English 2	演習		2			←→								
	4 English 3	演習		1				←→							
	5 English 4	演習		1					←→						
	6 English Communication	演習		2		←→		←→		←→		←→			
	7 韓国文化と言語	講義		2		←→									
	8 中国文化と言語	講義		2		←→									
	9 ロシア文化と言語	講義		2			←→								
	10 スペイン文化と言語	講義		2		←→									
	11 ろう文化と手話	講義		2			←→								
	12 フランス文化と言語	講義		2		←→									
人間総合科学科目 合計												必修10単位 選択13単位以上 計 23単位以上			

<健康科学部共通科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
健康科学部共通科目	ヘルスリテラシー科目	1	ヘルスプロモーション概論	講義	2		←→								9単位必修
		2	ヘルスプロモーション演習	演習	1		←→								
		3	健康情報リテラシー	講義	1			←→							
		4	職業倫理とヘルスコミュニケーション	講義	1				←→						
		5	セーフティプロモーション	講義	1					←→					
		6	地域包括支援論	講義	1						←→				
		7	ヘルスケアマネジメント論	講義	1							←→			
		8	ヘルスケアマネジメント実習	実習	1									←→	
共通選択科目		1	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	講義	1		←→		←→		←→		←→	2単位以上選択	
		2	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	講義	1		←→		←→		←→		←→		
		3	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	講義	1		←→		←→		←→		←→		
		4	グローバルヘルス	講義	1		←→								
		5	性とセクシュアリティ	講義	1			←→							
		6	看護学概論Ⅰ	講義	1		←→								
		7	人間発達援助論	講義	1			←→							
		8	家族援助論	講義	1				←→						
		9	認知症高齢者ケア	講義	1					←→					
		10	災害看護学	講義	1							←→			
		11	看護関係法規	講義	1					←→					
		12	ペイシエント・セーフティ	講義	1							←→			
13	ペリネイタルケア	講義	1							←→					
14	家族社会学	講義	2			←→									
15	行政法	講義	2				←→								
16	ボランティア活動支援論	講義	2			←→									
17	女性福祉論	講義	2				←→								
18	医療福祉論	演習	2					←→							
19	日本国憲法	講義	2			←→									
20	食品機能論	講義	1							←→					
健康科学部共通科目 合計												必修9単位 選択2単位以上 計 11単位以上			

【社会福祉学科履修表(学則別表6カリキュラム)】

対象学生:平成30年度以後に入学する学生、平成31年度以後に社会福祉学科に編入する学生

<人間総合科学科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
人間総合科学科目	人間と存在	1 思想と歴史	講義		2	←→									4単位以上選択
		2 人間と歴史	講義		2	←→									
		3 キャリアデザイン	講義		2	←→									
		4 教育と人間	講義		2	←→									
		5 個人と組織	講義		2	←→									
		6 生涯スポーツ	演習		2		←→								
		7 生涯発達とライフスタイル	講義		2		←→								
		8 人間と心理	講義		2		←→								
		9 人間関係論	講義		2				←→						
科学と論理	1 ラーニングスキル	演習	1		←→									2単位必修 2単位以上選択	
	2 人間総合科学演習	演習	1		←→										
	3 統計リテラシー	講義		1	←→										
	4 英語リーディング	講義		1	←→										
	5 医療系科学の基礎	講義		1	←→										
	6 情報機器の操作(I)	講義		1	←→										
	7 情報機器の操作(II)	講義		1		←→									
	8 科学と創造(理論編)	講義		1		←→									
	9 科学と創造(実践編)	講義		1		←→									
	10 調査と科学的方法	講義		1		←→									
	11 生活と化学	講義		1				←→							
芸術と創造	1 人間と音楽	演習		1			←→							1単位以上選択	
	2 人間と美術	演習		1			←→								
	3 人間と文学	演習		1			←→								
	4 人間と演劇	演習		1			←→								
現代社会と生活	1 生活と環境	講義		2		←→								4単位以上選択	
	2 情報社会と対人援助	講義		2		←→									
	3 災害と地域	講義		2		←→									
	4 青森の風土と生活	講義		2		←→									
	5 社会の動態と生活形態	講義		2		←→									
	6 社会生活と法	講義		2		←→									
	7 メディアリテラシー	講義		2		←→									
	8 経済と生活	講義		2			←→								
	9 グローバル社会と文化	講義		2			←→								
	10 ジェンダーと社会	講義		2			←→								
言語とコミュニケーション	1 人間関係とコミュニケーションB	講義		2					←→					8単位必修 No.7~12のうち、2単位以上選択	
	2 English 1	演習		2		←→									
	3 English 2	演習		2			←→								
	4 English 3	演習		1				←→							
	5 English 4	演習		1					←→						
	6 English Communication	演習		2		←→		←→		←→		←→			
	7 韓国文化と言語	講義		2		←→									
	8 中国文化と言語	講義		2		←→									
	9 ロシア文化と言語	講義		2			←→								
	10 スペイン文化と言語	講義		2		←→									
	11 ろう文化と手話	講義		2			←→								
	12 フランス文化と言語	講義		2		←→									
人間総合科学科目 合計												必修10単位 選択13単位以上 計 23単位以上			

<健康科学部共通科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件		
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
健康科学部共通科目	ヘルスリテラシー科目	1	ヘルスプロモーション概論	講義	2		←→								9単位必修	
	2	ヘルスプロモーション演習	演習	1		←→										
	3	健康情報リテラシー	講義	1				←→								
	4	職業倫理とヘルスコミュニケーション	講義	1					←→							
	5	セーフティプロモーション	講義	1						←→						
	6	地域包括支援論	講義	1							←→					
	7	ヘルスケアマネジメント論	講義	1								←→				
	8	ヘルスケアマネジメント実習	実習	1										←→		
共通選択科目	1	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	講義		1		←→		←→		←→		←→		2単位以上選択	
	2	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	3	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	4	グローバルヘルス	講義		1		←→									
	5	性とセクシュアリティ	講義		1			←→								
	6	看護学概論Ⅰ	講義		1		←→									
	7	人間発達援助論	講義		1			←→								
	8	家族援助論	講義		1				←→							
	9	認知症高齢者ケア	講義		1					←→						
	10	災害看護学	講義		1						←→					
	11	看護関係法規	講義		1				←→							
	12	ペイシエント・セーフティ	講義		1						←→					
13	ペリネイタルケア	講義		1						←→						
14	理学療法原論	講義		1		←→										
15	一般臨床医学	講義		1			←→									
16	画像診断学	講義		1				←→								
17	神経内科学	講義		2				←→								
18	障害予防概論	演習		1					←→							
19	日本国憲法	講義		2			←→									
20	食品機能論	講義		1						←→						
健康科学部共通科目 合計												必修9単位 選択2単位以上 計 11単位以上				

<専門科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件		
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門科目 支持科目	1	社会学(C)、(P)	講義	2		←→										7単位必修 5科目9単位以上選択
	2	心理学(C)、(P)	講義	2			←→									
	3	人体の構造と機能及び疾病(C)、(P)	講義	2				←→								
	4	社会福祉基礎実習Ⅰ	実習	1			←	→								
	5	法学	講義	2		←→										
	6	家族社会学	講義	2			←→									
	7	生涯発達心理学	講義	2				←→								
	8	リハビリテーション論	講義	2					←→							
	9	社会福祉法制	講義	2			←→									
	10	民法	講義	2			←→									
	11	行政法	講義	2				←→								
	12	社会法	講義	2					←→							
	13	ボランティア活動支援論	講義	2			←→									
	14	レクリエーション活動援助法	講義	2				←→								
	15	社会福祉基礎実習Ⅱ	実習	1				←	→							
	16	社会福祉基礎実習指導	実習	1				←	→							
基幹科目	1	社会福祉学概論Ⅰ(C)、(P)	講義	2		←→									30単位必修 12科目26単位以上選択	
	2	社会福祉学概論Ⅱ(C)、(P)	講義	2			←→									
	3	ソーシャルワーク論Ⅰ(C)	講義	2		←→										
	4	ソーシャルワーク論Ⅱ(C)	講義	2			←→									
	5	地域福祉の理論と方法Ⅰ(C)、(P)	講義	2		←→										
	6	地域福祉の理論と方法Ⅱ(C)、(P)	講義	2			←→									
	7	社会保障論Ⅰ(C)、(P)	講義	2				←→								
	8	社会保障論Ⅱ(C)、(P)	講義	2					←→							
	9	児童福祉論Ⅰ(C)	講義	2				←→								
	10	高齢者福祉論Ⅰ(C)	講義	2				←→								
	11	高齢者福祉論Ⅱ(C)	講義	2					←→							
	12	障害者福祉論Ⅰ(C)、(P)	講義	2				←→								
	13	就労支援論(C)	講義	2						←→						
	14	ソーシャルワーク演習Ⅰ(C)、(P)	演習	2			←	→								
	15	社会福祉研究演習Ⅰ	演習	2						←	→					
	16	ソーシャルワーク論Ⅲ(C)	講義	2				←→								
	17	ソーシャルワーク論Ⅳ(C)	講義	2					←→							
	18	介護福祉論	講義	2			←→									
	19	児童福祉論Ⅱ	講義	2					←→							
	20	障害者福祉論Ⅱ	講義	2					←→							
	21	女性福祉論	講義	2				←→								
	22	介護技術論	講義	2				←→								
	23	臨床心理学	講義	2					←→							
	24	精神医学Ⅰ(P)	講義	2				←→								
	25	精神医学Ⅱ(P)	講義	2					←→							
	26	保健医療サービス論(C)、(P)	講義	2					←→							
	27	医療福祉論	講義	2						←→						
	28	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)(P)	講義	2				←→								
	29	公的扶助論Ⅰ(C)、(P)	講義	2						←→						
	30	公的扶助論Ⅱ	講義	2							←→					
	31	社会調査概論(C)	講義	2						←→						
	32	精神保健(P)	講義	2						←→						
	33	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ(P)	講義	2					←→							
	34	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ(P)	講義	2						←→						
	35	ソーシャルワーク演習Ⅱ(C)、(P)	演習	2				←	→							
	36	ソーシャルワーク演習Ⅲ(C)、(P)	演習	2						←	→					
	37	ソーシャルワーク実習(C)	実習	4						←	→					
	38	ソーシャルワーク実習指導(C)	実習	2						←	→					

専 門 科 目	展 開 科 目	1	権利擁護と成年後見制度 (C)、(P)	講義	2					←→		8単位必修 5科目10単位以上選択	
		2	社会福祉研究演習Ⅱ	演習	2						← →		
		3	家族福祉論	講義	2					←→			
		4	社会福祉施設経営論 (C)	講義	2					←→			
		5	福祉行政と福祉計画 (C)、(P)	講義	2					←→			
		6	司法福祉論	講義	2					←→			
		7	更生保護制度論 (C)	講義	2					←→			
		8	国際福祉論	講義	2					←→			
		9	ソーシャルワーク論Ⅴ (C)	講義	2					←→			
		10	ソーシャルワーク論Ⅵ (C)	講義	2					←→			
		11	精神保健福祉論Ⅰ (P)	講義	2					←→			
		12	精神保健福祉論Ⅱ (P)	講義	2					←→			
		13	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ (P)	講義	2					←→			
		14	精神保健福祉援助演習Ⅰ (P)	演習	1					← →			
		15	精神保健福祉援助演習Ⅱ (P)	演習	1						← →		
		16	精神保健福祉援助実習Ⅰ (P)	実習	1					←→			
		17	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ (P)	実習	1					←→			
		18	精神保健福祉援助実習Ⅱ (P)	実習	4						← →		
		19	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (P)	実習	1						← →		
		20	卒業研究	演習	4						← →		
専門科目 合計											45単位必修 45単位以上選択 計 90単位以上		
卒業要件単位											124単位以上		

注1) 授業科目名中、(C)の表示がある科目は、社会福祉士指定科目である。

注2) 授業科目名中、(P)の表示がある科目は、精神保健福祉士指定科目である。

【栄養学科履修表(学則別表5の2カリキュラム)】

対象学生:平成31年度以後に入学する学生、令和2年度以後に栄養学科に編入する学生

<人間総合科学科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件	
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
人間総合科学科目	人間と存在	1 思想と歴史	講義		2	←→									4単位以上選択
		2 人間と歴史	講義		2	←→									
		3 キャリアデザイン	講義		2	←→									
		4 教育と人間	講義		2	←→									
		5 個人と組織	講義		2	←→									
		6 生涯スポーツ(NT)	演習		2		←→								
		7 生涯発達とライフスタイル	講義		2		←→								
		8 人間と心理	講義		2		←→								
		9 人間関係論	講義		2				←→						
科学と論理	1 ラーニングスキル	演習	1		←→									3単位必修 1単位以上選択	
	2 人間総合科学演習	演習	1		←→										
	3 統計リテラシー	講義		1	←→										
	4 英語リーディング	講義		1	←→										
	5 医療系科学の基礎	講義		1	←→										
	6 情報機器の操作(Ⅰ)(NT)	講義		1	←→										
	7 情報機器の操作(Ⅱ)(NT)	講義		1		←→									
	8 科学と創造(理論編)	講義		1		←→									
	9 科学と創造(実践編)	講義		1		←→									
	10 調査と科学的方法	講義		1		←→									
	11 生活と化学	講義	1				←→								
芸術と創造	1 人間と音楽	演習		1			←→							1単位以上選択	
	2 人間と美術	演習		1			←→								
	3 人間と文学	演習		1			←→								
	4 人間と演劇	演習		1			←→								
現代社会と生活	1 生活と環境	講義		2		←→								4単位以上選択	
	2 情報社会と対人援助	講義		2		←→									
	3 災害と地域	講義		2		←→									
	4 青森の風土と生活	講義		2		←→									
	5 社会の動態と生活形態	講義		2		←→									
	6 社会生活と法	講義		2		←→									
	7 メディアリテラシー	講義		2		←→									
	8 経済と生活	講義		2			←→								
	9 グローバル社会と文化	講義		2			←→								
	10 ジェンダーと社会	講義		2			←→								
言語とコミュニケーション	1 人間関係とコミュニケーションB	講義		2					←→					8単位必修 No.7~12のうち、2単位以上選択	
	2 English 1(NT)	演習		2		←→									
	3 English 2	演習		2			←→								
	4 English 3	演習		1			←→								
	5 English 4	演習		1				←→							
	6 English Communication	演習		2		←→		←→		←→		←→			
	7 韓国文化と言語	講義		2		←→									
	8 中国文化と言語	講義		2		←→									
	9 ロシア文化と言語	講義		2			←→								
	10 スペイン文化と言語	講義		2		←→									
	11 ろう文化と手話	講義		2			←→								
	12 フランス文化と言語	講義		2		←→									
人間総合科学科目 合計												必修11単位 選択12単位以上 計 23単位以上			

<健康科学部共通科目>

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件		
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
健康科学部共通科目	ヘルスリテラシー科目	1	ヘルスプロモーション概論	講義	2		←→								9単位必修	
	2	ヘルスプロモーション演習	演習	1		←→										
	3	健康情報リテラシー	講義	1				←→								
	4	職業倫理とヘルスコミュニケーション	講義	1					←→							
	5	セーフティプロモーション	講義	1						←→						
	6	地域包括支援論	講義	1							←→					
	7	ヘルスケアマネジメント論	講義	1								←→				
	8	ヘルスケアマネジメント実習	実習	1										←→		
共通選択科目	1	ヒューマンケア特殊講義Ⅰ	講義		1		←→		←→		←→		←→		2単位以上選択	
	2	ヒューマンケア特殊講義Ⅱ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	3	ヒューマンケア特殊講義Ⅲ	講義		1		←→		←→		←→		←→			
	4	グローバルヘルス	講義		1		←→									
	5	性とセクシュアリティ	講義		1			←→								
	6	看護学概論Ⅰ	講義		1		←→									
	7	人間発達援助論	講義		1			←→								
	8	家族援助論	講義		1				←→							
	9	認知症高齢者ケア	講義		1					←→						
	10	災害看護学	講義		1						←→					
	11	看護関係法規	講義		1				←→							
	12	ペイシエントセーフティ	講義		1						←→					
	13	ペリネイタルケア	講義		1						←→					
	14	理学療法原論	講義		1		←→									
	15	一般臨床医学	講義		1			←→								
16	画像診断学	講義		1					←→							
17	神経内科学	講義		2					←→							
18	障害予防概論	演習		1						←→						
19	家族社会学	講義		2			←→									
20	行政法	講義		2				←→								
21	ボランティア活動支援論	講義		2			←→									
22	女性福祉論	講義		2				←→								
23	医療福祉論	演習		2					←→							
健康科学部共通科目 合計												必修9単位 選択2単位以上 計 11単位以上				

科目群	番号	授業科目名	授業の形態	区分及び単位数		配当年次								卒業要件		
				必修	選択	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門科目 栄養教諭科目	1	日本国憲法(NT)	講義		2		←→									24単位選択必修
	2	教職論(NT)	講義		2						←→					
	3	教育基礎論(NT)	講義		2			←→								
	4	教育心理学(NT)	講義		1		←→									
	5	教育行政学(NT)	講義		1						←→					
	6	教育課程論(NT)	講義		1				→							
	7	道徳教育・特別活動論(NT)	講義		1					←→						
	8	教育方法論(NT)	講義		2				→							
	9	生徒指導論(NT)	講義		1			←→								
	10	教育相談(NT)	講義		1			←→								
	11	教職実践演習(栄養教諭)(NT)	演習		2								←	→		
	12	学校栄養教育論(NT)	講義		2					←→						
	13	食育実践論(NT)	講義		2					←→						
	14	「総合的な学習の時間」指導法概論(NT)	講義		1						←→					
	15	特別支援教育論(NT)	講義		1						←→					
	16	栄養教育実習事前事後指導(NT)	実習		1								←	→		
	17	栄養教育実習(NT)	実習		1								←	→		
専門科目 合計												89単位必修 1単位以上選択 計 90単位以上				
卒業要件単位												124単位以上				

注) 授業科目名中、(NT)の表示がある科目は、栄養教諭免許取得希望学生必修科目。

青森県立保健大学カリキュラム・ポリシー

I. 本学のカリキュラム構成

本学のカリキュラムは、「人間総合科学科目」、「専門科目」、「健康科学部共通科目」で構成し、これらをもってディプロマ・ポリシーに掲げた4つの力（自らを高める力、専門的知識に根差した実践力、創造力、統合的実践力）を育成します。

- 「人間総合科学科目」には、5つの科目群を置き、自らを高める力を育成し、専門科目で学ぶ基盤を作ります。
- 「専門科目」は、習得の順序性を重視し、「専門支持科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」から構成します。「専門支持科目群」と「基幹科目群」では主に専門的知識に根差した実践力を、「展開科目群」では主に創造力を育成します。
- 「健康科学部共通科目」は、これからの保健、医療及び福祉を担う人材に共通して必要な能力を育成する科目であり、創造力及び統合的実践力を育成します。

また、多様な入学者が円滑に本学で学べるように、「補強学習科目群」を置き、高校までの習得状況に応じて、入学者が自ら選択して学び、学習の基盤づくりができるようにします（修得単位には含めません）。

II. 4つの力を育成するカリキュラム・ポリシー

1. 自らを高める力 —豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力—			
健康科学部（全学科共通）			
<p>○教養を身につけるための教育 ヒューマンケアを実践できる人材として必要な教養を身につけるために「人間総合科学科目」に、「人間と存在」、「科学と論理」、「芸術と創造」、「現代社会と生活」科目群を置き、自ら選択して学ぶことで、人間やその生活への理解を深める基盤を作ります。</p> <p>○主体的学習力を身につけるための教育 生涯にわたって活用できる自己学習力を育成するために、人間総合科学科目で、基礎的なラーニングスキルを習得させます。これを活用して「専門科目」を学ぶことで、自ら学習をし続けることのできる力と態度を育みます。</p> <p>○表現力を身につけるための教育 「言語とコミュニケーション」科目群においては、コミュニケーションの基礎を学び、ネイティブスピーカーによる英語の少人数授業や、文化と語学を合わせて学ぶことができる科目などから、グローバルな視野を育み、心の障壁を取り除き、心を開いて多様な人々と接することができる力を養います。</p>			
2. 専門的知識に根差した実践力 —高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力—			
看護学科	理学療法学科	社会福祉学科	栄養学科
<p>○学習の順序性 1年次から看護学への関心を高めるため、専門支持科目群、基幹科目群、展開科目群と、段階的に科目を配置し、系統的に看護学を教授します。</p> <p>○アクティブラーニングを主体とした教育方法 効果的な知識・技術の習得のために、アクティブラーニング（シミュレーション、少人数のグループディスカッション、高忠実度シミュレータ、模擬患者、臨地実習等）を主体とした教育方法を用います。</p> <p>○専門的知識・実践力を身につけるための教育 「専門支持科目群」では、看護の基盤となる人体の構造・機能、疾病及びその治療方法、「基幹科目群」では様々な対象に合わせた援助の知識と方法、「展開科目群」では、専門的・応用的な援助方法を教授します。 実践力を身につけるために、基礎的な援助方法を身につけた後、様々な健康レベル、成長・発達、地域や在宅等の看護の場に即した看護の実践について、それぞれに援助論と実習を配して教授します。更に、広い視野から看護を展望するための科目を配しています。</p>	<p>○学習の順序性 理学療法の多様なニーズに応えるために、新たな展開として、基礎および臨床理学療法の専門分化する知識と技術を習得するための順序性のある系統的な講義・実習・演習を教授します。</p> <p>○アクティブラーニングを主体とした教育方法 理学療法の知識と技術を身につけさせるために、アクティブラーニング（少人数での演習、模擬患者、シミュレーション教育、臨床実習等）を主体とした教育方法をとります。</p> <p>○専門的知識・実践力を身につけるための教育 実践力を身につけるため、障害の種類やレベル、成長・発達・加齢、地域等の実践の場に即した理学療法の実践を可能とするための講義及び実習科目を配置します。 対象者へのラポールとオリエンテーション（人間関係形成能力）及び、情報収集、観察、検査・測定、記録、統合と解釈（情報活用能力）並びに、問題点抽出・目標設定（将来設計能力）、治療計画立案（意思決定能力）及び、対象者の状態に応じた治療方針の修正（課題対応能力）をする力を育成します。さらに、教育成果としての臨床実習教育の目標到達度を、人材養成教育の総合的な評価尺度として効果判定します。</p> <p>○倫理観を身につけるための教育</p>	<p>○学習の順序性 専門支持科目群、基幹科目群、展開科目群と、段階的に科目を配置し、系統的に社会福祉学を教授します。</p> <p>○アクティブラーニングを主体とした教育方法 社会福祉の知識と技術を身につけさせるために、アクティブラーニング（少人数での演習、グループディスカッション、臨地実習等）を主体とした教育方法とします。</p> <p>○専門的知識・実践力を身につけるための教育 「専門支持科目」では、社会福祉学の基盤となる知識・技術およびこれらの関連科目について教授します。「基幹科目」では、多様なソーシャルワーク領域における知識・技術・価値を教授します。「展開科目」では、より専門的な知識やより高度で応用的なソーシャルワーク実践を教授します。 個人や家族（ミクロ）、地域（メゾ）、社会全体（マクロ）の視点（レベル）から社会福祉の対象へのアプローチを教授します。</p>	<p>○学習の順序性 管理栄養士として必要な知識・技術を、系統的・段階的に高いレベルで教授します。</p> <p>○アクティブラーニングを主体とした教育方法 効果的な知識・技術の習得のために、アクティブラーニング（実験、少人数での演習、グループディスカッション、模擬事例、シミュレーション教育、臨地実習等）を主体とした教育方法とします。</p> <p>○専門的知識・実践力を身につけるための教育 管理栄養士として基礎となる知識は、専門基礎分野（専門支持科目群）の講義で養い、これらを実験・実習によって定着させます。 管理栄養士の高度で専門的な知識と技術は、専門分野（基幹科目群）の講義で養い、これらを実験・実習・臨地実習によって柔軟に応用へと展開できる力を身につけさせます。</p>

<p>○倫理観を身につけるための教育 看護に必要な対象の人権を守る視点、実践者としての倫理観を育むために、講義と演習で学習させ、臨地実習での学びと振り返りを通して倫理観を体験的に学習させます。</p> <p>○キャリア形成支援教育 看護職としてのキャリアのあり方も視野にいれ、包括的な視点で看護を捉えることができる基礎的能力を育成します。</p>	<p>知識・技術のみならず、コミュニケーション能力および人間関係形成能力に基づいた倫理観の育成を重視し、効果的な臨床実習とするために実習施設と大学との関係を強化し、連携して教授します。</p> <p>○キャリア形成支援教育 学内学習での基礎的能力と学外学習での汎用的能力の両面から、計画実行能力と課題対応能力を身につけた人材育成を目的とするキャリア教育を行います。</p>	<p>○倫理観を身につけるための教育 「専門支持科目」、「基幹科目」および「展開科目」において、権利擁護の概念を段階的に理解させ、より高度な倫理的判断能力を培います。</p> <p>○キャリア形成支援教育 社会福祉を学んだ者が活躍する現場は多岐に渡るため、臨地実習やキャリア支援教育から、自身のキャリア形成のビジョン作りを支援します。</p>	<p>○倫理観を身につけるための教育 対象者を尊重する態度や管理栄養士の職業倫理への理解を深めるために、専門分野の関連科目においてその内容を習得させます。</p> <p>○キャリア形成支援教育 管理栄養士の活躍する現場は多岐に渡るため、様々な職域における実践現場で臨地実習を行うことで、自身のキャリア形成のビジョン作りを支援します。</p>
---	---	---	--

3. 創造力
—獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力—

看護学科	理学療法学科	社会福祉学科	栄養学科
<p>○問題解決能力を高める教育 情報収集力・情報分析力・問題解決能力を高めることを目指した科目を設定し、対象の健康課題の解決に取り組むための看護過程の展開について、講義・演習・実習を通して段階的に繰り返し学習させます。</p> <p>○クリティカルシンキングを高めるための教育 講義、実習や演習のカンファレンス、成果の発表やその評価を通し、4年間を通じて論理的批判的能力を育成します。特に研究については、看護研究方法論の講義及び卒業研究で、現象に対する批判的思考を磨き、看護に関連した課題を見つけられるよう、少人数ゼミ形式で学習させます。</p> <p>○健康科学リテラシーを身につけるための教育 健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習を通して、看護に必要な科学の法則を学び、得られた情報を正確に分析し看護援助に活用できる能力を育みます。</p>	<p>○問題解決能力を高める教育 習得した基本的知識・技術を、臨床の場で対象者の状況に適合させる応用的展開能力を養います。</p> <p>○クリティカルシンキングを高めるための教育 臨床経験と科学的根拠に基づいた理学療法の確立を担う人材養成のために、研究計画の立案と遂行、論文執筆、プレゼンテーションの一連の研究過程について、展開科目を契機として教授し、論理的批判的思考力及び科学リテラシーを育成します。</p> <p>○健康科学リテラシーを身につけるための教育 健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習を通して、理学療法に関わるヘルスリテラシー向上に活用できる能力を育みます。</p>	<p>○問題解決能力を高める教育 系統的に習得した専門的な知識と技術を統合させ、社会福祉に関わる理論や実践に応用させます。</p> <p>○クリティカルシンキングを高めるための教育 社会福祉領域において新たな課題を見出し、高度な倫理的判断のもとで、課題の解決を図るための論理的思考と研究能力を習得させます。</p> <p>○健康科学リテラシーを身につけるための教育 健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。人々の生活・健康課題を改善する一つのアプローチとして、住民および地域全体のヘルスリテラシー向上に資する能力を育みます。</p>	<p>○問題解決能力を高める教育 系統的・段階的に習得した専門知識・技術をさらに発展させるために、問題解決力・思考力を育てます。そのために総合演習・卒業研究を位置づけます。これらの科目から卒業後、栄養と健康の高度専門職業人として、科学的根拠を踏まえ、社会ニーズに適切かつ柔軟に対応できる能力や姿勢を身につかせます。</p> <p>○クリティカルシンキングを高めるための教育 講義、実験、実習、演習での発表やその評価を通し、4年間を通じて論理的批判的思考力及び科学リテラシーを育成します。</p> <p>○健康科学リテラシーを身につけるための教育 健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習・実習を通して、栄養に関わるヘルスリテラシー向上に活用できる能力を育みます。</p>

4. 統合的実践力
—繋がりあうことでより大きな力を発揮できる実践力—

<p>健康科学部（全学科共通）</p> <p>○地域課題（ヘルスリテラシー向上）を核とした実践力の育成 「健康科学部共通科目」の「ヘルスリテラシー科目群」において、自らの健康科学リテラシーを応用し、住民のヘルスリテラシーを向上させるための方策について探求します。1年生から4年生まで専門科目の習得レベルに応じた科目を配し、1年次、4年次には地域に赴き、地域とそこに暮らす人々の現実の健康上の課題から援助方法を探求します。</p> <p>○多職種と協働できる実践力を育成するための教育 ヘルスリテラシー科目群では、学科混成グループで学びあう場を提供します。各々の専門分野を知り、関心や視野を広げるとともに、対象を中心として多職種が協働してケアを実現することができる実践能力を育成します。学びの過程を通し、表現力、リーダーシップ、メンバーシップを育成します。 また、ヒューマンケアやキャリア、ボランティアに関わる最新動向を学習するヒューマンケア特殊講義、他学科に開講できる専門科目を抽出した「共通選択科目群」を置くことで、学生自身の興味に従って選択して学ぶ環境を提供し、視野を広げ、他分野への理解を促します。</p>

「2. 専門的知識に根差した実践力」及び「3. 創造力」については、学科による特殊性が大きいため、区別して表しています。

本学のカリキュラムは、「人間総合科学科目」、「専門科目」、「健康科学部共通科目」で構成し、これらをもってディプロマ・ポリシーに掲げた4つの力（自らを高める力、専門的知識に根差した実践力、創造力、統合的実践力）を育成します。

- 「人間総合科学科目」には、5つの科目群を置き、自らを高める力を育成し、専門科目で学ぶ基盤を作ります。
- 「専門科目」は、習得の順序性を重視し、「専門支持科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」から構成します。「専門支持科目群」と「基幹科目群」では主に専門的知識に根差した実践力を、「展開科目群」では主に創造力を育成します。
- 「健康科学部共通科目」は、これからの保健、医療及び福祉を担う人材に共通して必要な能力を育成する科目であり、創造力及び統合的実践力を育成します。

また、多様な入学者が円滑に本学で学べるように、「補強学習科目群」を置き、高校までの習得状況に応じて、入学者が自ら選択して学び、学習の基盤づくりができるようにします（修得単位には含めません）。

1. 自らを高める力 —豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力—

○教養を身につけるための教育

ヒューマンケアを実践できる人材として必要な教養を身につけるために「人間総合科学科目」に、「人間と存在」、「科学と論理」、「芸術と創造」、「現代社会と生活」科目群を置き、自ら選択して学ぶことで、人間やその生活への理解を深める基盤を作ります。

○主体的学習力を身につけるための教育

生涯にわたって活用できる自己学習力を育成するために、人間総合科学科目で、基礎的なラーニングスキルを習得させます。これを活用して「専門科目」を学ぶことで、自ら学習をし続けることのできる力と態度を育みます。

○表現力を身につけるための教育

「言語とコミュニケーション」科目群においては、コミュニケーションの基礎を学び、ネイティブスピーカーによる英語の少人数授業や、文化と語学を合わせて学ぶことができる科目などから、グローバルな視野を育み、心の障壁を取り除き、心を開いて多様な人々と接することができる力を養います。

2. 専門的知識に根差した実践力 —高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力—

○学習の順序性

1年次から看護学への関心を高めるため、専門支持科目群、基幹科目群、展開科目群と、段階的に科目を配置し、系統的に看護学を教授します。

○アクティブラーニングを主体とした教育方法

効果的な知識・技術の習得のために、アクティブラーニング（シミュレーション、少人数のグループディスカッション、高忠実度シミュレータ、模擬患者、臨地実習等）を主体とした教育方法を用います。

○専門的知識・実践力を身につけるための教育

「専門支持科目群」では、看護の基盤となる人体の構造・機能、疾病及びその治療方法、「基幹科目群」では様々な対象に合わせた援助の知識と方法、「展開科目群」では、専門的・応用的な援助方法を教授します。

実践力を身につけるために、基礎的な援助方法を身につけさせた後、様々な健康レベル、成長・発達、地域や在宅等の看護の場に即した看護の実践について、それぞれに援助論と実習を配して教授します。更に、広い視野から看護を展望するための科目を配しています。

○倫理観を身につけるための教育

看護に必要な対象の人権を守る視点、実践者としての倫理観を育むために、講義と演習で学習させ、臨地実習での学びと振り返りを通して倫理観を体験的に学習させます。

○キャリア形成支援教育

看護職としてのキャリアのあり方も視野にいれ、包括的な視点で看護を捉えることができる基礎的能力を育成します。

3. 創造力 —獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力—

○問題解決能力を高める教育

情報収集力・情報分析力・問題解決力を高めることを目指した科目を設定し、対象の健康課題の解決に取り組むための看護過程の展開について、講義・演習・実習を通して段階的に繰り返し学習させます。

○クリティカルシンキングを高めるための教育

講義、実習や演習のカンファレンス、成果の発表やその評価を通し、4年間を通じて論理的批判的能力を育成します。特に研究については、看護研究方法論の講義及び卒業研究で、現象に対する批判的思考を磨き、看護に関連した課題を見つけられるよう、少人数ゼミ形式で学習させます。

○健康科学リテラシーを身につけるための教育

健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習を通して、看護に必要な科学の法則を学び、得られた情報を正確に分析し看護援助に活用できる能力を育みます。

4. 統合的実践力 —繋がりあうことでより大きな力を発揮できる実践力—

○地域課題（ヘルスリテラシー向上）を核とした実践力の育成

「健康科学部共通科目」の「ヘルスリテラシー科目群」において、自らの健康科学リテラシーを応用し、住民のヘルスリテラシーを向上させるための方策について探求します。1年生から4年生まで専門科目の習得レベルに応じた科目を配し、1年次、4年次には地域に赴き、地域とそこに暮らす人々の現実の健康上の課題から援助方法を探求します。

○多職種と協働できる実践力を育成するための教育

ヘルスリテラシー科目群では、学科混成グループで学びあう場を提供します。各々の専門分野を知り、関心や視野を広げるとともに、対象を中心として他職種が協働してケアを実現することができる実践能力を育成します。学びの過程を通し、表現力、リーダーシップ、メンバーシップを育成します。

また、ヒューマンケアやキャリア、ボランティアに関わる最新動向を学習するヒューマンケア特殊講義、他学科に開講できる専門科目を抽出した「共通選択科目群」を置くことで、学生自身の興味に従って選択して学ぶ環境を提供し、視野を広げ、他分野への理解を促します。

本学のカリキュラムは、「人間総合科学科目」、「専門科目」、「健康科学部共通科目」で構成し、これらをもってディプロマ・ポリシーに掲げた4つの力（自らを高める力、専門的知識に根差した実践力、創造力、統合的実践力）を育成します。

- 「人間総合科学科目」には、5つの科目群を置き、自らを高める力を育成し、専門科目で学ぶ基盤を作ります。
- 「専門科目」は、習得の順序性を重視し、「専門支持科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」から構成します。「専門支持科目群」と「基幹科目群」では主に専門的知識に根差した実践力を、「展開科目群」では主に創造力を育成します。
- 「健康科学部共通科目」は、これからの保健、医療及び福祉を担う人材に共通して必要な能力を育成する科目であり、創造力及び統合的実践力を育成します。

また、多様な入学者が円滑に本学で学べるように、「補強学習科目群」を置き、高校までの習得状況に応じて、入学者が自ら選択して学び、学習の基盤づくりができるようにします（修得単位には含めません）。

1. 自らを高める力 —豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力—

○教養を身につけるための教育

ヒューマンケアを実践できる人材として必要な教養を身につけるために「人間総合科学科目」に、「人間と存在」、「科学と論理」、「芸術と創造」、「現代社会と生活」科目群を置き、自ら選択して学ぶことで、人間やその生活への理解を深める基盤を作ります。

○主体的学習力を身につけるための教育

生涯にわたって活用できる自己学習力を育成するために、人間総合科学科目で、基礎的なラーニングスキルを習得させます。これを活用して「専門科目」を学ぶことで、自ら学習を続けることのできる力と態度を育みます。

○表現力を身につけるための教育

「言語とコミュニケーション」科目群においては、コミュニケーションの基礎を学び、ネイティブスピーカーによる英語の少人数授業や、文化と語学を合わせて学ぶことができる科目などから、グローバルな視野を育み、心の障壁を取り除き、心を開いて多様な人々と接することができる力を養います。

2. 専門的知識に根差した実践力 —高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力—

○学習の順序性

理学療法の多様なニーズに応えるために、新たな展開として、基礎および臨床理学療法の専門分化する知識と技術を習得するための順序性のある系統的な講義・実習・演習を教授します。

○アクティブラーニングを主体とした教育方法

理学療法の知識と技術を身につけさせるために、アクティブラーニング（少人数での演習、模擬患者、シミュレーション教育、臨床実習等）を主体とした教育方法をとります。

○専門的知識・実践力を身につけるための教育

実践力を身につけるため、障害の種類やレベル、成長・発達・加齢、地域等の実践の場に即した理学療法の実践を可能とするための講義及び実習科目を配置します。

対象者へのラポールとオリエンテーション（人間関係形成能力）及び、情報収集、観察、検査・測定、記録、統合と解釈（情報活用能力）並びに、問題点抽出・目標設定（将来設計能力）、治療計画立案（意思決定能力）及び、対象者の状態に応じた治療方針の修正（課題対応能力）をする力を育成します。さらに、教育成果としての臨床実習教育の目標到達度を、人材養成教育の総合的な評価尺度として効果判定します。

○倫理観を身につけるための教育

知識・技術のみならず、コミュニケーション能力および人間関係形成能力に基づいた倫理観の育成を重視し、効果的な臨床実習とするために実習施設と大学との関係を強化し、連携して教授します。

○キャリア形成支援教育

学内学習での基礎的能力と学外学習での汎用的能力の両面から、計画実行能力と課題対応能力を身につけた人材育成を目途とするキャリア教育を行います。

3. 創造力 —獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力—

○問題解決能力を高める教育

習得した基本的知識・技術を、臨床の場で対象者の状況に適合させる応用的展開能力を養います。

○クリティカルシンキングを高めるための教育

臨床経験と科学的根拠に基づいた理学療法の確立を担う人材養成のために、研究計画の立案と遂行、論文執筆、プレゼンテーションの一連の研究過程について、展開科目を契機として教授し、論理的批判的思考力及び科学リテラシーを育成します。

○健康科学リテラシーを身につけるための教育

健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習を通して、理学療法に関わるヘルスリテラシーを教授し、住民のヘルスリテラシー向上に活用できる能力を育みます。

4. 統合的実践力 —繋がりあうことでより大きな力を発揮できる実践力—

○地域課題（ヘルスリテラシー向上）を核とした実践力の育成

「健康科学部共通科目」の「ヘルスリテラシー科目群」において、自らの健康科学リテラシーを応用し、住民のヘルスリテラシーを向上させるための方策について探求します。1年生から4年生まで専門科目の習得レベルに応じた科目を配し、1年次、4年次には地域に赴き、地域とそこに暮らす人々の現実の健康上の課題から援助方法を探求します。

○多職種と協働できる実践力を育成するための教育

ヘルスリテラシー科目群では、学科混成グループで学びあう場を提供します。各々の専門分野を知り、関心や視野を広げるとともに、対象を中心として他職種が協働してケアを実現することができる実践能力を育成します。学びの過程を通し、表現力、リーダーシップ、メンバーシップを育成します。

また、ヒューマンケアやキャリア、ボランティアに関わる最新動向を学習するヒューマンケア特殊講義、他学科に開講できる専門科目を抽出した「共通選択科目群」を置くことで、学生自身の興味に従って選択して学ぶ環境を提供し、視野を広げ、他分野への理解を促します。

本学のカリキュラムは、「人間総合科学科目」、「専門科目」、「健康科学部共通科目」で構成し、これらをもってディプロマ・ポリシーに掲げた4つの力（自らを高める力、専門的知識に根差した実践力、創造力、統合的実践力）を育成します。

- 「人間総合科学科目」には、5つの科目群を置き、自らを高める力を育成し、専門科目で学ぶ基盤を作ります。
- 「専門科目」は、習得の順序性を重視し、「専門支持科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」から構成します。「専門支持科目群」と「基幹科目群」では主に専門的知識に根差した実践力を、「展開科目群」では主に創造力を育成します。
- 「健康科学部共通科目」は、これからの保健、医療及び福祉を担う人材に共通して必要な能力を育成する科目であり、創造力及び統合的実践力を育成します。

また、多様な入学者が円滑に本学で学べるように、「補強学習科目群」を置き、高校までの習得状況に応じて、入学者が自ら選択して学び、学習の基盤づくりができるようにします（修得単位には含めません）。

1. 自らを高める力 —豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力—

○教養を身につけるための教育

ヒューマンケアを実践できる人材として必要な教養を身につけるために「人間総合科学科目」に、「人間と存在」、「科学と論理」、「芸術と創造」、「現代社会と生活」科目群を置き、自ら選択して学ぶことで、人間やその生活への理解を深める基盤を作ります。

○主体的学習力を身につけるための教育

生涯にわたって活用できる自己学習力を育成するために、人間総合科学科目で、基礎的なラーニングスキルを習得させます。これを活用して「専門科目」を学ぶことで、自ら学習を続けることのできる力と態度を育みます。

○表現力を身につけるための教育

「言語とコミュニケーション」科目群においては、コミュニケーションの基礎を学び、ネイティブスピーカーによる英語の少人数授業や、文化と語学を合わせて学ぶことができる科目などから、グローバルな視野を育み、心の障壁を取り除き、心を開いて多様な人々と接することができる力を養います。

2. 専門的知識に根差した実践力 —高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力—

○学習の順序性

専門支持科目群、基幹科目群、展開科目群と、段階的に科目を配置し、系統的に社会福祉学を教授します。

○アクティブラーニングを主体とした教育方法

社会福祉の知識と技術を身につけさせるために、アクティブラーニング（少人数での演習、グループディスカッション、臨地実習等）を主体とした教育方法とします。

○専門的知識・実践力を身につけるための教育

「専門支持科目」では、社会福祉学の基盤となる知識・技術およびこれらの関連科目について教授します。「基幹科目」では、多様なソーシャルワーク領域における知識・技術・価値を教授します。「展開科目」では、より専門的な知識やより高度で応用的なソーシャルワーク実践を教授します。

個人や家族（ミクロ）、地域（メゾ）、社会全体（マクロ）の視点（レベル）から社会福祉の対象へのアプローチを教授します。

○倫理観を身につけるための教育

「専門支持科目」、「基幹科目」および「展開科目」において、権利擁護の概念を段階的に理解させ、より高度な倫理的判断能力を培います。

○キャリア形成支援教育

社会福祉を学んだ者が活躍する現場は多岐に渡るため、臨地実習やキャリア支援教育から、自身のキャリア形成のビジョン作りを支援します。

3. 創造力 —獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力—

○問題解決能力を高める教育

系統的に習得した専門的な知識と技術を統合させ、社会福祉に関わる理論や実践に応用させます。

○クリティカルシンキングを高めるための教育

社会福祉領域において新たな課題を見出し、高度な倫理的判断のもとで、課題の解決を図るための論理的思考と研究能力を習得させます。

○健康科学リテラシーを身につけるための教育

健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。人々の生活・健康課題を改善する一つのアプローチとして、住民および地域全体のヘルスリテラシー向上に資する能力を育みます。

4. 統合的実践力 —繋がりあうことでより大きな力を発揮できる実践力—

○地域課題（ヘルスリテラシー向上）を核とした実践力の育成

「健康科学部共通科目」の「ヘルスリテラシー科目群」において、自らの健康科学リテラシーを応用し、住民のヘルスリテラシーを向上させるための方策について探求します。1年生から4年生まで専門科目の習得レベルに応じた科目を配し、1年次、4年次には地域に赴き、地域とそこに暮らす人々の現実の健康上の課題から援助方法を探求します。

○多職種と協働できる実践力を育成するための教育

ヘルスリテラシー科目群では、学科混成グループで学びあう場を提供します。各々の専門分野を知り、関心や視野を広げるとともに、対象を中心として他職種が協働してケアを実現することができる実践能力を育成します。学びの過程を通し、表現力、リーダーシップ、メンバーシップを育成します。

また、ヒューマンケアやキャリア、ボランティアに関わる最新動向を学習するヒューマンケア特殊講義、他学科に開講できる専門科目を抽出した「共通選択科目群」を置くことで、学生自身の興味に従って選択して学ぶ環境を提供し、視野を広げ、他分野への理解を促します。

本学のカリキュラムは、「人間総合科学科目」、「専門科目」、「健康科学部共通科目」で構成し、これらをもってディプロマ・ポリシーに掲げた4つの力（自らを高める力、専門的知識に根差した実践力、創造力、統合的実践力）を育成します。

- 「人間総合科学科目」には、5つの科目群を置き、自らを高める力を育成し、専門科目で学ぶ基盤を作ります。
- 「専門科目」は、習得の順序性を重視し、「専門支持科目群」、「基幹科目群」、「展開科目群」から構成します。「専門支持科目群」と「基幹科目群」では主に専門的知識に根差した実践力を、「展開科目群」では主に創造力を育成します。
- 「健康科学部共通科目」は、これからの保健、医療及び福祉を担う人材に共通して必要な能力を育成する科目であり、創造力及び統合的実践力を育成します。

また、多様な入学者が円滑に本学で学べるように、「補強学習科目群」を置き、高校までの習得状況に応じて、入学者が自ら選択して学び、学習の基盤づくりができるようにします（修得単位には含めません）。

1. 自らを高める力 —豊かな教養をもとに、適切な表現力をもって自ら学ぶことのできる力—

○教養を身につけるための教育

ヒューマンケアを実践できる人材として必要な教養を身につけるために「人間総合科学科目」に、「人間と存在」、「科学と論理」、「芸術と創造」、「現代社会と生活」科目群を置き、自ら選択して学ぶことで、人間やその生活への理解を深める基盤を作ります。

○主体的学習力を身につけるための教育

生涯にわたって活用できる自己学習力を育成するために、人間総合科学科目で、基礎的なラーニングスキルを習得させます。これを活用して「専門科目」を学ぶことで、自ら学習をし続けることのできる力と態度を育みます。

○表現力を身につけるための教育

「言語とコミュニケーション」科目群においては、コミュニケーションの基礎を学び、ネイティブスピーカーによる英語の少人数授業や、文化と語学を合わせて学ぶことができる科目などから、グローバルな視野を育み、心の障壁を取り除き、心を開いて多様な人々と接することができる力を養います。

2. 専門的知識に根差した実践力 —高度な専門的知識と技術、倫理的態度を獲得し、これを踏まえて実践できる力—

○学習の順序性

管理栄養士として必要な知識・技術を、系統的・段階的に高いレベルで教授します。

○アクティブラーニングを主体とした教育方法

効果的な知識・技術の習得のために、アクティブラーニング（実験、少人数での演習、グループディスカッション、模擬事例、シミュレーション教育、臨地実習等）を主体とした教育方法とします。

○専門的知識・実践力を身につけるための教育

管理栄養士として基礎となる知識は、専門基礎分野（専門支持科目群）の講義で養い、これらを実験・実習によって定着させます。

管理栄養士の高度で専門的な知識と技術は、専門分野（基幹科目群）の講義で養い、これらを実験・実習・臨地実習によって柔軟に応用へと展開できる力を身につけさせます。

○倫理観を身につけるための教育

対象者を尊重する態度や管理栄養士の職業倫理への理解を深めるために、専門分野の関連科目においてその内容を習得させます。

○キャリア形成支援教育

管理栄養士の活躍する現場は多岐に渡るため、様々な職域における実践現場で臨地実習を行うことで、自身のキャリア形成のビジョン作りを支援します。

3. 創造力 —獲得した知識や技術を発展的に活用できる能力—

○問題解決能力を高める教育

系統的・段階的に習得した専門知識・技術をさらに発展させるために、問題解決力・思考力を育てます。そのために総合演習・卒業研究を位置づけます。これらの科目から卒業後、栄養と健康の高度専門職業人として、科学的根拠を踏まえ、社会ニーズに適切かつ柔軟に対応できる能力や姿勢を身につけさせます。

○クリティカルシンキングを高めるための教育

講義、実験、実習、演習での発表やその評価を通し、4年間を通じて論理的批判的思考力及び科学リテラシーを育成します。

○健康科学リテラシーを身につけるための教育

健康科学リテラシーを身につけるために、健康科学部共通科目にヘルスリテラシー科目群を置き、段階的な教育を行います。専門科目では、講義・演習・実習を通して、栄養に関わるヘルスリテラシーを教授し、住民のヘルスリテラシー向上に活用できる能力を育みます。

4. 統合的実践力 —繋がりあうことでより大きな力を発揮できる実践力—

○地域課題（ヘルスリテラシー向上）を核とした実践力の育成

「健康科学部共通科目」の「ヘルスリテラシー科目群」において、自らの健康科学リテラシーを応用し、住民のヘルスリテラシーを向上させるための方策について探求します。1年生から4年生まで専門科目の習得レベルに応じた科目を配し、1年次、4年次には地域に赴き、地域とそこに暮らす人々の現実の健康上の課題から援助方法を探求します。

○多職種と協働できる実践力を育成するための教育

ヘルスリテラシー科目群では、学科混成グループで学びあう場を提供します。各々の専門分野を知り、関心や視野を広げるとともに、対象を中心として他職種が協働してケアを実現することができる実践能力を育成します。学びの過程を通し、表現力、リーダーシップ、メンバーシップを育成します。

また、ヒューマンケアやキャリア、ボランティアに関わる最新動向を学習するヒューマンケア特殊講義、他学科に開講できる専門科目を抽出した「共通選択科目群」を置くことで、学生自身の興味に従って選択して学ぶ環境を提供し、視野を広げ、他分野への理解を促します。

令和元年度 ゲストスピーカーの招聘状況

○学部

	年月日	授業科目	講師氏名	講師所属・職名	授業担当教員
1	H31. 4. 18	クリティカルケア	佐藤 照樹	青森県立中央病院リハビリテーション科 技師	千葉 武揚
2	R1. 5. 7	ヘルスプロモーション概論	菊谷 由紀子	鱒ヶ沢町 健康ほけん課 主任保健師	古川 照美
3	R1. 5. 29	健康と栄養管理	中村 広美	青森県健康福祉部 がん・生活主幹病対策課 健やか 力推進グループ 主幹	清水 亮
4	R1. 6. 10	在宅看護実習	坂田 千佳子	公済会訪問看護ステーションやまびこ 主任看護師	細川 満子
5	R1. 6. 11	社会福祉基礎実習指導	斉藤 雄	青森市役所福祉部子育て支援課 主事	工藤 英明
6	R1. 6. 21	ソーシャルワーク演習Ⅲ (齋藤クラス)	立木 昭子	青森家庭裁判所 主任家庭裁判所調査官	齋藤 史彦
7	R1. 6. 21	ソーシャルワーク演習Ⅲ (齋藤クラス)	金木 恵美	青森家庭裁判所 家庭裁判所調査官	齋藤 史彦
8	R1. 6. 25	ヘルスプロモーション概論	三村 申吾	青森県庁 知事	反町 吉秀
9	R1. 7. 10	看護学概論Ⅱ	大串 靖子	現在所属なし	福井 幸子
10	R1. 7. 12	児童福祉論Ⅰ	山崎 く子	青森家庭裁判所 八戸支部 主任家庭裁判所調査官	齋藤 史彦
11	R1. 7. 12	児童福祉論Ⅰ	樋口 靖晃	青森家庭裁判所 八戸支部 家庭裁判所調査官	齋藤 史彦
12	R1. 7. 23	ヘルスケアマネジメント論	向中野 葉子	青森市福祉部高齢支援課 主幹	千葉 敦子
13	R1. 7. 23	ヘルスケアマネジメント論	前田 敦子	青森市保健部 青森市保健所健康づくり推進課 主査	千葉 敦子
14	R1. 8. 5	健康政策学	青木 範子	青森県庁 がん・生活習慣病対策課 主幹	反町 吉秀
15	R1. 9. 24	基礎看護実習Ⅰ	長村 和子	社団法人慈恵会 青森慈恵会病院 看護総括部長	福井 幸子
16	R1. 10. 7	リハビリテーションケア論	木村 紘到	八戸赤十字病院 脳卒中リハビリテーション看護認定 看護師	大崎 瑞恵
17	R1. 10. 8	がん看護	馬場 教子	八戸市立市民病院 緩和ケア認定看護師	鳴井 ひろみ
18	R1. 10. 18	看護倫理学	高橋 大輔	B型肝炎訴訟東北弁護士団 弁護士原告	福井 幸子
19	R1. 10. 18	看護倫理学	秋場 麗湖	B型肝炎訴訟東北弁護士団 弁護士原告	福井 幸子
20	R1. 10. 29	更生保護制度論	櫛引 唯一郎	青森刑務所 所長	齋藤 史彦
21	R1. 11. 2	在宅看護援助論	成田 俊介	一般財団法人 青森県難病団体連絡協議会 事務局長	細川 満子
22	R1. 11. 11	災害と地域	長谷川 浩	六ヶ所げんねん企画株式会社 副センター長	村上 眞須美
23	R1. 11. 19	更生保護制度論	関谷 益実	青森少年鑑別所 所長	齋藤 史彦
24	R1. 11. 20	青森の風土と生活	三村 三千代	県知事夫人	小山内 豊彦
25	R1. 12. 9	災害と地域	菊池 滋	青森県危機管理局防災危機管理課 副参事	村上 眞須美
26	R1. 12. 17	更生保護制度論	天内 修	青森地区保護司会 会長	齋藤 史彦
27	R1. 12. 18	地域栄養活動論	並岡 亜希子	岩手県環境保健福祉センター 専門研究員	三好 美紀
28	R2. 1. 6	地域看護学実習	成田 弘視	西奥野町会 会長	千葉 敦子
29	R2. 1. 6	地域看護学実習	山内 とし子	青森市保健所健康づくり推進課 保健師	千葉 敦子
30	R2. 1. 8	青森の風土と生活	三村 申吾	青森県 知事	小山内 豊彦
31	R2. 1. 8	地域栄養活動論	向井 庸平	東北町 保健衛生課 管理栄養士	三好 美紀

32	R2.1.8	地域栄養活動論	濱谷 舞	七戸町 保健福祉課 主査 栄養士	三好 美紀
----	--------	---------	------	------------------	-------

令和元年度 臨地教授等による事前学外実習の実施状況

	年月日	授業科目	講師区分	講師氏名	講師所属・職名	授業担当教員
1	H31. 4. 8	臨床栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ	臨地准教授	石岡 拓得	一般財団法人 愛成会 弘前愛成会病院 栄養科 科長	清水 亮
2	H31. 4. 25	クリティカルケア	臨地講師	伊藤 伸子	青森県立中央病院 主任 看護師	千葉 武揚
3	R1. 5. 9	クリティカルケア	臨地講師	伊藤 伸子	青森県立中央病院 主任 看護師	千葉 武揚
4	R1. 5. 30	ソーシャルワーク実習指導	臨地教授	後藤 辰也	社会福祉法人七戸美光園 理事長	工藤 英明
5	R1. 6. 4	社会福祉基礎実習指導	臨地教授	鶴見 智之	弘前市社会福祉協議会地 域福祉課生活支援係 係 長	工藤 英明
6	R1. 6. 5	健康と栄養管理	臨地准教授	伊藤 恵美子	財団医療法人謙昌会 総 合リハビリ美保野病院 栄養管理科科长	清水 亮
7	R1. 6. 6	ソーシャルワーク実習指導	臨地教授	高原 弘美	社会福祉法人温和会 特 別養護老人ホーム 朝光 苑 施設長	工藤 英明
8	R1. 6. 13	ソーシャルワーク実習指導	臨地教授	土岐 敏子	弘前脳卒中・リハビリ テーションセンター 医 療相談室長	工藤 英明
9	R1. 10. 1	がん看護	臨地教授	沼倉 昌洋	あんさん訪問看護ステー ション 所長	鳴井 ひろ み
10	R1. 11. 18	地域看護学	臨地教授	飯田 貴子	野辺地町役場 課長	古川 照美
11	R1. 11. 29	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	臨地講師	津川 貴史	つくしが丘病院 精神保健 福祉士	石田 賢哉

令和元年度 特別講義実施状況

内 容	
第 1 回	<p><社会福祉学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和元年5月30日（木）12：40～14：10 ・講 師：NPO法人 子育てオーダーメイド・サポートこもも 代表 橋本 歩 ・テーマ：地域における子育て支援の実践～自分たちの困りごとを解決するために創り上げた実践が仕事になりました
第 2 回	<p><理学療法学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和元年12月19日（木）8：40～10：10 ・講 師：北海道文教大学 大学院リハビリテーション科学研究科 大学院教授（札幌医科大学名誉教授） 宮本 重範 ・テーマ：我が青春の賦—理学療法士の大志を抱いて リハビリテーション黎明期における米国・カナダでの体験と挑戦
第 4 回	<p><栄養学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：令和2年1月22日（水）16：00～17：30 ・講 師：一般社団法人 ペイシェントフード 代表理事 宿野部 武志 ・テーマ：管理栄養士養成課程に在籍する学生を対象とした『患者協働の医療』

令和元年度 臨地教授等一覧

○臨地講師

学科名	氏名	所属・職名	期間
看護	石川 里香子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	加賀谷 智美	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	古跡 千里子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	鈴木 敦子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	柿崎 文代	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	五戸 千賀子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	赤平 敦子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	葛西 恵千子	青森県立つくしが丘病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	館田 美枝子	青森県立つくしが丘病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	山口 佳代子	青森県立つくしが丘病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	柏谷 真喜子	青森県立つくしが丘病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	松倉 晶子	八戸市立市民病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	田中 千織	八戸市立市民病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	木村 香	青森市民病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	内山 麻由美	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	太田 明子	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	工藤 真吉	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	齊藤 久美	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	本間 恵理香	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	伊藤 伸子	青森県立中央病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	諏訪 真生	青森保健生活協同組合 生協さくら病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	高谷 彰	青森保健生活協同組合 生協さくら病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	鈴木 紘子	青森保健生活協同組合 生協さくら病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	中畑 貴博	一般社団法人青森精神医学研究所附属浅虫温泉病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	壬生 まゆみ	八戸市立市民病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	古屋敷 智美	八戸市立市民病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	三上陽子	青森慈恵会病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	宮田まどか	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	最上こずえ	青森保健生活協同組合 あおもり協立病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	今 悦子	青森慈恵会病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	福田真奈美	青森慈恵会病院	H31.4.1～R2.3.31
看護	丹藤 淳	青森慈恵会病院	H31.4.1～R2.3.31
社福	工藤 玲子	医療法人清照会障害者就業・生活支援センターみなと 障害者就労移行支援事業所わーくみなと	H31.4.1～R2.3.31
社福	津川 貴史	青森県立つくしが丘病院	H31.4.1～R2.3.31
栄養	佐藤 翠	特別養護老人ホーム 和幸園	H31.4.1～R2.3.31
栄養	澤田 あゆみ	一部事務組合下北医療センター むつ総合病院	H31.4.1～R2.3.31
栄養	高橋 水穂	医療法人サンメディコ介護老人保健施設ヴィラ弘前	H31.4.1～R2.3.31

青森県立保健大学 令和2年度入学者選抜結果一覧

学科	選抜区分	募集人員 (名) A	志願者数 (名)		受験者数 (名) C	合格者数 (名)			入学者数 (名)	入学者内訳 (名)							
			B	志願倍率 (倍) B÷A		D	うち追加合格者数 (名)	実質倍率 (倍) C÷D		男女別		現浪別		県内外別			
										男	女	現役	浪人・社会人	県内	県外		
																男	女
看護学科	一般入試	前期日程	47	141	3.0	127	57	0	2.2	54	3	51	47	7	17	37	
		後期日程	8	143	17.9	46	10	0	4.6	9	0	9	9	0	5	4	
		一般入試計	55	284	5.2	173	67	0	2.6	63	3	60	56	7	22	41	
	特別選抜	推薦入試	一般推薦(県内)	30	45	1.5	45	30	0	1.5	30	0	30	30	0	30	0
			一般推薦(県外)	5	21	4.2	21	7	0	3.0	7	0	7	7	0	0	7
			小計	35	66	1.9	66	37	0	1.8	37	0	37	37	0	30	7
		社会人・学士特別選抜	2	2	1.0	2	1	0	2.0	1	0	1	0	1	1	0	
		帰国子女等特別選抜	1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		私費外国人留学生特別選抜	1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		特別選抜計	39	68	1.7	68	38	0	1.8	38	0	38	37	1	31	7	
	AO入試	一般	5	47	9.4	47	8	0	5.9	8	0	8	8	0	8	0	
		特別活動選抜	1	3	3.0	3	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		AO入試計	6	50	8.3	50	8	0	6.3	8	0	8	8	0	8	0	
	計		100	402	4.0	291	113	0	2.6	109	(2.8%) 3	(97.2%) 106	(92.7%) 101	(7.3%) 8	(56%) 61	(44%) 48	
理学療法学科	一般入試	前期日程	14	34	2.4	33	16	0	2.1	15	10	5	15	0	4	11	
		後期日程	3	50	16.7	19	5	0	3.8	5	3	2	5	0	1	4	
		一般入試計	17	84	4.9	52	21	0	2.5	20	13	7	20	0	5	15	
	特別選抜	推薦入試	一般推薦(県内)	8	24	3.0	24	10	0	2.4	10	7	3	10	0	10	0
			一般推薦(県外)	2	15	7.5	15	2	0	7.5	2	0	2	2	0	0	2
			小計	10	39	3.9	39	12	0	3.3	12	7	5	12	0	10	2
		社会人・学士特別選抜	1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		特別選抜計	11	39	3.5	39	12	0	3.3	12	7	5	12	0	10	2	
	AO入試	2	20	10.0	20	2	0	10.0	2	0	2	2	0	1	1		
	計		30	143	4.8	111	35	0	3.2	34	(58.8%) 20	(41.2%) 14	(100%) 34	(0%) 0	(47.1%) 16	(52.9%) 18	
	社会福祉学科	一般入試	前期日程	25	54	2.2	50	27	0	1.9	26	11	15	26	0	8	18
			後期日程	6	68	11.3	19	10	1	1.9	6	3	3	6	0	3	3
			一般入試計	31	122	3.9	69	37	1	1.9	32	14	18	32	0	11	21
		特別選抜	推薦入試	一般推薦(県内)	11	11	1.0	11	11	0	1.0	11	1	10	11	0	11
一般推薦(県外)				3	7	2.3	7	5	0	1.4	5	1	4	5	0	0	5
小計				14	18	1.3	18	16	0	1.1	16	2	14	16	0	11	5
社会人・学士特別選抜			1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
特別選抜計			15	18	1.2	18	16	0	1.1	16	2	14	16	0	11	5	
AO入試		4	11	2.8	11	5	0	2.2	5	1	4	5	0	2	3		
計		50	151	3.0	98	58	1	1.7	53	(32.1%) 17	(67.9%) 36	(100%) 53	(0%) 0	(45.3%) 24	(54.7%) 29		
栄養学科		一般入試	前期日程	19	40	2.1	40	19	0	2.1	17	3	14	17	0	6	11
			後期日程	3	29	9.7	6	5	0	1.2	4	0	4	4	0	1	3
			一般入試計	22	69	3.1	46	24	0	1.9	21	3	18	21	0	7	14
		特別選抜	推薦入試	一般推薦(県内)	6	24	4.0	24	7	0	3.4	7	0	7	7	0	7
	一般推薦(県外)			2	17	8.5	17	3	0	5.7	3	0	3	3	0	0	3
	小計			8	41	5.1	41	10	0	4.1	10	0	10	10	0	7	3
	特別選抜計		8	41	5.1	41	10	0	4.1	10	0	10	10	0	7	3	
	計		30	110	3.7	87	34	0	2.6	31	(9.7%) 3	(90.3%) 28	(100%) 31	(0%) 0	(45.2%) 14	(54.8%) 17	
	健康科学部合計		210	806	3.8	587	240	1	2.4	227	(18.9%) 43	(81.1%) 184	(96.5%) 219	(3.5%) 8	(50.7%) 115	(49.3%) 112	

青森県立保健大学 令和2年度入学者選抜結果一覧

学科	選抜区分	募集人員 (名) A	志願者数 (名)		受験者数 (名) C	合格者数 (名)			入学者数 (名)	入学者内訳 (名)							
			志願倍率 (倍) B÷A	うち追加合格者数 (名)		実質倍率 (倍) C÷D	男女別			現浪別		県内外別					
							男	女		現役	浪人・社会人	県内	県外				
試験ごとの学部合計	一般入試	前期日程	105	269	2.6	250	119	0	2.1	112	27	85	105	7	35	77	
		後期日程	20	290	14.5	90	30	1	3.0	24	6	18	24	0	10	14	
		一般入試計	125	559	4.5	340	149	1	2.3	136	33	103	129	7	45	91	
	特別選抜	推薦入試	一般推薦 (県内)	55	104	1.9	104	58	0	1.8	58	8	50	58	0	58	0
			一般推薦 (県外)	12	60	5.0	60	17	0	3.5	17	1	16	17	0	0	17
			小計	67	164	2.4	164	75	0	2.2	75	9	66	75	0	58	17
		社会人・学士 特別選抜	4	2	0.5	2	1	0	2.0	1	0	1	0	1	1	0	
		帰国子女等 特別選抜	1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		私費外国人 留学生特別選抜	1	0	0.0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		特別選抜計	73	166	2.3	166	76	0	2.2	76	9	67	75	1	59	17	
	AO入試	一般	11	78	7.1	78	15	0	5.2	15	1	14	15	0	11	4	
		特別活動選抜	1	3	3.0	3	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	
		AO入試計	12	81	6.8	81	15	0	5.4	15	1	14	15	0	11	4	
	計		210	806	3.8	587	240	1	2.4	227	(18.9%) 43	(81.1%) 184	(96.5%) 219	(3.5%) 8	(50.7%) 115	(49.3%) 112	

令和2年度編入学者選抜試験結果

学科	募集人員	志願者		受験者数	合格者		入学者数
		志願者数	志願倍率		合格者数	実質倍率	
看護	10	3	0.3	3	2	1.5	0
理学療法	2	0	-	0	0	-	0
社会福祉	4	3	0.8	3	3	1.0	1
栄養	3	4	1.3	4	2	2.0	2
合計	19	10	0.5	10	7	1.4	3

令和元年度卒業生の進路

Department of Nursing

看護学科



在籍学生数 / 434名(男28名・女406名)2020年4月1日現在
青森県立保健大学の合格率(2020年3月)

看護師 国家試験合格率	97.2%	●全国の新卒者合格率 94.7%
保健師 国家試験合格率	100%	●全国の新卒者合格率 96.3%
助産師 国家試験合格率	100%	●全国の新卒者合格率 99.5%

就職率
2020年
3月現在

100%

(看)=看護師、(保)=保健師、(助)=助産師

【青森県/29】(看) ■青森県病院局
 ■国立大学法人弘前大学医学部附属病院
 ■八戸赤十字病院 ■十和田市立中央病院
 ■社団法人慈恵会青森慈恵会病院
 ■独立行政法人国立病院機構青森病院
 ■津軽保健生活協同組合健康病院
 (保) ■青森県 ■青森市役所
 ■鯉ヶ沢町 ■藤崎町
 (助) ■独立行政法人国立病院機構弘前病院
 (看・助) ■八戸市立市民病院

【北海道/13】(看) ■独立行政法人国立病院機構北海道医療センター
 ■市立札幌病院
 ■社会福祉法人函館厚生院函館五稜郭病院
 ■医療法人漢仁会手稲敬仁会病院
 ■JA北海道厚生連 札幌厚生病院
 ■国家公務員共済組合連合会斗南病院など

【秋田県/4】(看) ■市立横手病院、
 ■秋田県厚生農業協同組合連合会大曲厚生医療センターなど
 (保) ■大館市

【岩手県/3】(看) ■岩手医科大学附属病院
 ■独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター

【宮城県/6】(看) ■独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
 ■石巻赤十字病院
 ■一般財団法人厚生会仙台厚生病院など

【山形県/1】(保) ■山形市

【東京都/16】(看) ■東京医科大学八王子医療センター
 ■公益財団法人がん研究会有明病院
 ■東京慈恵会医科大学附属病院
 ■日本赤十字医療センター
 ■国立研究開発法人国立成育医療研究センター
 ■独立行政法人国立病院機構災害医療センター
 ■東京警察病院
 ■日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院など

【神奈川県/9】(看) ■独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院
 ■川崎市立川崎病院
 ■昭和大学藤が丘病院など
 (保) ■横浜市役所
 (看・保) ■国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院

このほか、全国で多くの卒業生が活躍しています。

主な就職先 2020年3月現在 「匿名/人数」

Department of Physical Therapy

理学療法学科



在籍学生数 / 130名(男68名・女62名)2020年4月1日現在
青森県立保健大学の合格率(2020年3月)

理学療法士 国家試験合格率	100%	●全国の新卒者合格率 93.2%
------------------	-------------	----------------------------

就職率
2020年
3月現在

100%

【青森県/9】 ■医療法人芙蓉会 村上病院
 ■社会福祉法人 敬仁会 青森敬仁会病院
 ■一般財団法人 黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
 ■八戸市立市民病院
 ■つがる西北五広域連合 つがる総合病院
 ■公益財団法人シルバークリニック
 ■協会 メディカルコート八戸西病院
 ■社会福祉法人青森社会福祉振興みちのくデイケアセンター

【北海道/7】 ■医療法人深仁会 札幌西門山病院
 ■医療法人新さつぽろ脳神経外科病院
 ■医療法人中山会 新札幌パウロ病院
 ■医療法人ひまわり会 札幌病院
 ■医療法人社団shindo 旭川リハビリテーション病院

【岩手県/1】 ■岩手県医療局

【宮城県/2】 ■医療法人松田会 松田病院

【山形県/1】 ■地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

【埼玉県/4】 ■医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
 ■医療法人協友会 八潮中央総合病院
 ■医療法人慈正会 丸山記念総合病院
 ■社会福祉法人安誠福祉会

【千葉県/2】 ■医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
 ■西川整形外科

【東京都/2】 ■医療法人社団苑田会 苑田第三病院
 ■日本マクドナルドホールディングス(株)

【神奈川県/3】 ■医療法人社団哺育会 さがみりハビリテーション病院
 ■南東北グループ 医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院
 ■医療法人社団健育会 湘南慶育病院

【静岡県/1】 ■医療法人社団アール・アンド・オー

【進学/2】 ■青森県立保健大学大学院
 ■札幌医科大学大学院

主な就職先 2020年3月現在 「匿名/人数」

Department of social welfare

社会福祉学科



在籍学生数 / 215名(男53名・女162名)2020年4月1日現在
青森県立保健大学の合格率(2020年3月)

社会福祉士 国家試験合格率 全国の国家試験の合格率
84.3% **29.3%**
全国トップクラスの合格率

精神保健福祉士 国家試験合格率
92.3% 全国の国家試験の合格率 **62.1%**

就職率 2020年3月現在 **100%**

- 【公務員(福祉職、行政職)】
- 【青森県 / 5】 ■青森県庁 ■青森県警察
 - 【北海道 / 2】 ■伊達市役所 ■北海道庁
 - 【岩手県 / 2】 ■岩手県庁 ■宮城県庁
 - 【宮城県 / 2】 ■宮城県庁 ■美里町役場
 - 【山形県 / 2】 ■山形県立こころの医療センター ■山形市役所
- 【福祉専門職(相談職)】
- 【青森県 / 8】 ■社団法人慈恵会 青森慈恵会病院 ■黒石市国民健康保険 黒石病院 ■介護老人保健施設はくじゅ ■津軽保健生活協同組合 ■社会福祉法人和幸園 ■医療法人芙蓉会 芙蓉会病院 ■医療法人雄心会 青森新都市病院 ■社会福祉法人弘前豊徳会
 - 【岩手県 / 1】 ■社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院
 - 【秋田県 / 1】 ■きららアーバンパレス ショーツステイ
 - 【宮城県 / 1】 ■IMS グループ 西仙台病院
 - 【山形県 / 1】 ■社会福祉法人 新庄市社会福祉協議会
 - 【埼玉県 / 2】 ■医療生協さいたま生活協同組合 ■戸田中央医科グループ 新座志木中央総合病院
 - 【千葉県 / 1】 ■社会福祉法人生活クラブ 風の村
 - 【静岡県 / 1】 ■医療法人十全会 聖明病院
- 【福祉専門職(支援職)】
- 【青森県 / 10】 ■社会福祉法人七峰会 ■社会福祉法人清養会 ■社会福祉法人同伸会 特別養護老人ホーム瑞光園 ■社会福祉法人豊寿会 ■社会福祉法人東寿会 障害者支援施設東寿園 ■社会福祉法人ゆきわり会 わふた・はやぶさ ■社会福祉法人平元会 ■社会福祉法人藤聖母園 児童養護施設藤聖母園
 - 【北海道 / 1】 ■社会福祉法人天寿会
 - 【宮城県 / 1】 ■社会福祉法人 仙台をつなぐ育成会
 - 【東京都 / 1】 ■社会福祉法人池上長寿園
 - 【千葉県 / 1】 ■レオパレス 21 あずみ苑 清水公園
 - 【神奈川県 / 1】 ■社会福祉法人清光会 特別養護老人ホーム さわか苑
 - 【大阪府 / 1】 ■社会福祉法人田島園児養護施設田島園
- 【福祉専門職(介護職)】
- 【青森県 / 2】 ■社会福祉法人宏仁会 高齢者総合福祉施設清風荘 ■社会福祉法人平元会

主な就職先 2020年3月現在 (県外人数)

Department of Nutrition

栄養学科



在籍学生数 / 135名(男10名・女125名)2020年4月1日現在
青森県立保健大学の合格率(2020年3月)

管理栄養士 国家試験合格率
97.1%
全国の新卒者合格率 **92.4%**

就職率 2020年3月現在 **100%**

- 【青森県 / 4】 ■むつ総合病院 ■公益財団法人 青森県学校給食会 ■有限会社 テック ■(公財)シムバリーハビリテーション協会 ■介護老人保健施設はくじゅ ■公益社団法人函館市医師会 函館市医師会病院 ■医療法人亀田病院 ■独立行政法人国立病院機構 帯広病院
- 【北海道 / 3】 ■二戸市役所 ■若手県医療局 ■日清医療食品東北東北支店 ■医療法人友愛会 盛岡友愛病院
- 【岩手県 / 4】 ■南池田 ■滝沢市役所 ■マザーズ・サンピア保育園 ■南アワ食品 ■医療法人 美誠会 荒川病院 ■南ア・コーポレーションはっべるランド勝どき ■エムサービスジャパン(株) ■旭松食品 ■社会福祉法人 どんご会 ■南LEOC ■青森市立病院 ■南トラストファーマシー ■IMSグループ 医療法人社団 明芳会 高島中央総合病院 ■南マツモトキョシホールディングス ■医療法人社団誠仁会 みほま病院 ■日清医療食品南東京支店 ■医療法人財団明理会 新松戸中央総合病院 ■南クリエイトエス・ディー ■南クリエイトエス・ディー ■青森県立保健大学大学院
- 【秋田県 / 2】 ■南クリエイトエス・ディー ■青森県立保健大学大学院
- 【宮城県 / 1】 ■青森県立保健大学大学院
- 【埼玉県 / 1】 ■青森県立保健大学大学院
- 【東京都 / 12】 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院 ■青森県立中央病院
- 【北海道】 ■札幌市 ■岩手県教育委員会 ■岩手県立中央病院 ■久慈保健所
- 【宮城県】 ■宮城県教育庁 ■大崎市市民病院
- 【秋田県】 ■大館市立総合病院
- 【山形県】 ■山形県立中央病院
- 【福島県】 ■福島県 ■福島赤十字病院
- 【栃木県】 ■那須赤十字病院
- 【埼玉県】 ■さいたま市 ■(医)関越病院
- 【東京都】 ■杏林大学医学部附属病院 ■日本大学医学部附属橋場病院
- 【千葉県】 ■千葉市教育委員会
- 【京都府】 ■関わかさ生活

主な就職先 2020年3月現在 (県外人数)

定員管理と入退学の状況

◆令和元年度学生数（令和元年5月1日）

【健康科学研究科】

（単位：人）

	学年	定員	在籍学生数			
			男	女	小計	計
博士前期課程	1年	10	2	8	10	25
	2年	10	6	9	15	
博士後期課程	1年	4	2	5	7	18
	2年	4	1	3	4	
	3年	4	3	4	7	
計		32	14	29	43	43

◆平成31年度入学生数

【健康科学研究科】

(単位:人)

	入学定員	入学者数	男女別	
			男	女
博士前期課程	10	10	2	8
博士後期課程	4	7	2	5
計	14	17	4	13

◆令和元年度休退学者数

※休学者は、前期または後期を休学した学生で実人数。

【健康科学研究科】

(単位:人)

	休学者数	退学者数	除籍者数
博士前期課程	5	2	0
博士後期課程	3	1	0
合計	8	3	0

第1～18期生の国家試験受験結果について

R2年3月24日現在

卒業期 (年度)	学科名 試験種別	看護学科			理学療法学科	社会福祉学科		栄養学科
		看護師	保健師	助産師	理学療法士	社会福祉士	精神保健福祉士	管理栄養士
1期生 ⑭	受験者	98	95	10	20	36		
	合格者	96	81	8	20	21		
	本学合格率	98.0%	85.3%	80.0%	100.0%	58.3%		
	全国平均	92.6%	91.5%	89.2%	98.5%	31.4%		
2期生 ⑮	受験者	102	104	10	18	37		
	合格者	99	91	9	18	25		
	本学合格率	97.1%	87.5%	90.0%	100.0%	67.6%		
	全国平均	91.2%	92.3%	96.2%	97.9%	28.5%		
3期生 ⑯	受験者	95	104	10	23	39		
	合格者	91	88	10	22	28		
	本学合格率	95.8%	84.6%	100.0%	95.7%	71.8%		
	全国平均	91.4%	81.5%	99.7%	94.9%	29.8%		
4期生 ⑰	受験者	96	105	10	21	44		
	合格者	87	76	9	20	30		
	本学合格率	90.6%	72.4%	90.0%	95.2%	68.2%		
	全国平均	88.3%	78.7%	98.1%	97.5%	28.0%		
5期生 ⑱	受験者	93	103	8	19	43	10	
	合格者	91	103	8	18	24	9	
	本学合格率	97.8%	100.0%	100.0%	94.7%	55.8%	90.0%	
	全国平均	90.6%	99.0%	94.3%	93.2%	27.4%	60.3%	
6期生 ⑲	受験者	99	109	8	21	41	6	
	合格者	98	96	7	18	31	6	
	本学合格率	99.0%	88.1%	87.5%	85.7%	75.6%	100.0%	
	全国平均	90.3%	91.1%	98.1%	86.6%	30.6%	60.4%	
7期生 ⑳	受験者	104	113	8	18	41	9	
	合格者	102	111	8	18	33	9	
	本学合格率	98.1%	98.2%	100.0%	100.0%	80.5%	100.0%	
	全国平均	89.9%	97.7%	99.9%	90.9%	29.1%	61.7%	
8期生 ㉑	受験者	94	102	7	23	39	11	
	合格者	93	92	6	23	29	11	
	本学合格率	98.9%	90.2%	85.7%	100.0%	74.4%	100.0%	
	全国平均	89.5%	86.6%	83.1%	92.6%	27.5%	63.3%	
9期生 ㉒	受験者	100	109	7	21	37	15	
	合格者	99	98	7	18	29	14	
	本学合格率	99.0%	89.9%	100.0%	85.7%	78.4%	93.3%	
	全国平均	91.8%	86.3%	97.2%	74.3%	28.1%	58.3%	
10期生 ㉓	受験者	102	108	5	29	50	17	33
	合格者	100	100	5	29	44	17	31
	本学合格率	98.0%	92.6%	100.0%	100.0%	88.0%	100.0%	93.9%
	全国平均	95.1%	89.2%	96.0%	82.4%	26.3%	62.6%	91.6%
11期生 ㉔	受験者	101	106	4	31	50	7	33
	合格者	100	105	4	29	31	6	32
	本学合格率	99.0%	99.1%	100.0%	93.5%	62.0%	85.7%	97.0%
	全国平均	94.1%	97.5%	98.9%	88.7%	18.8%	56.9%	82.7%
12期生 ㉕	受験者	106	114	5	31	47	14	33
	合格者	105	110	5	31	36	14	32
	本学合格率	99.1%	96.5%	100.0%	100.0%	76.6%	100.0%	97.0%
	全国平均	95.2%	88.8%	97.6%	90.2%	27.5%	58.3%	91.2%
13期生 ㉖	受験者	106	117	3	33	49	14	32
	合格者	104	117	3	33	34	14	31
	本学合格率	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	69.4%	100.0%	96.9%
	全国平均	95.5%	99.6%	99.9%	89.1%	27.0%	61.3%	95.4%
14期生 ㉗	受験者	108	34	5	34	39	13	31
	合格者	107	34	5	32	36	11	28
	本学合格率	99.1%	100.0%	100.0%	94.1%	92.3%	84.6%	90.3%
	全国平均	94.9%	92.6%	99.8%	82.0%	26.2%	61.6%	85.1%
15期生 ㉘	受験者	105	31	4	34	50	12	33
	合格者	104	31	3	34	42	12	29
	本学合格率	99.0%	100.0%	75.0%	100.0%	84.0%	100.0%	87.9%
	全国平均	94.3%	94.5%	93.2%	96.3%	25.8%	62.0%	92.4%
16期生 ㉙	受験者	100	30	9	31	53	7	34
	合格者	98	28	9	29	42	7	33
	本学合格率	98.0%	93.3%	100.0%	93.5%	79.2%	100.0%	97.1%
	全国平均	91.0%	81.4%	98.7%	81.4%	30.2%	62.9%	95.8%
17期生 ㉚	受験者	104	30	4	28	51	22	35
	合格者	104	29	4	27	42	22	34
	本学合格率	100.0%	96.7%	100.0%	96.4%	82.4%	100.0%	97.1%
	全国平均	94.7%	88.1%	99.9%	92.8%	29.9%	62.7%	95.5%
18期生 ①	受験者	107	30	4	34	51	13	34
	合格者	104	30	4	34	43	12	33
	本学合格率	97.2%	100.0%	100.0%	100.0%	84.3%	92.3%	97.1%
	全国平均	94.7%	96.3%	99.5%	93.2%	29.3%	62.1%	92.4%

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日		
4/22		4/23		4/24		4/25		4/26		4/27		4/28		
4 月	4/29		4/30											
	昭和の日		退位の日											
5/1		5/2		5/3		5/4		5/5		5/6		5/7		
		即位の日		国民の休日		憲法記念日		みどりの日		こどもの日				
5/8		5/9		5/10		5/11		5/12		5/13		5/14		
振替休日(こどもの日)		m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥ 研2			m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥ 研2	m1	研究倫理(浅井)①②③④ W室	m8	看護理論特論(木村)①② 研2			
		m38	理学療法基礎科学特論④ W室					m5	学術英語読解(川内)⑤⑥ W室					
		m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥ W室											
5/15		5/16		5/17		5/18		5/19		5/20		5/21		
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥ W室	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥ B101	m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥ W室	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥ 研2	m5	学術英語読解(川内)⑤⑥ W室	m8	看護理論特論(木村)①② 研2			
m21	生化学特論(佐藤)⑤⑥ 研2	m38	理学療法基礎科学特論④ W室			m20	神経科学特論(尾崎)③④ W室	m12	疫学特論(反町)①② 研2					
		m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥ W室											
5/22		5/23		5/24		5/25		5/26		5/27		5/28		
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥ W室	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥ B101	m8	看護理論特論(木村以外)⑤⑥ W室	m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥ W室	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥ 研2	m23	公衆衛生学特論(大久保)①②③ 研2	m5	学術英語読解(佐藤)①② W室	
m21	生化学特論(佐藤)⑤⑥ 研2	m38	理学療法基礎科学特論④ W室					m29	国際保健学(三好)②③④ W室	m13	統計学基礎(山田)①② N2			
		m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥ W室											
5/29		5/30		5/31										
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥ W室	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥ B101	m8	看護理論特論(木村以外)⑤⑥ W室	m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥ W室	m3	Evidence-based Practice概論(角濱)⑤⑥ W室					
m21	生化学特論(佐藤)⑤⑥ 研2	m38	理学療法基礎科学特論④ W室			m54	実践看護学特論Ⅰ①② 研2	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥ 研2					
		m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥ W室					m20	神経科学特論(尾崎)③④ W室					

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日								
										6/1		6/2								
										m12	疫学特論(反町)③④	研2	m5	学術英語読解(佐藤)①	W室					
										m13	統計学基礎(山田)①②	研2								
6/3		6/4		6/5		6/6		6/7		6/8		6/9								
m21	生化学特論(佐藤)⑤⑥	研2	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥	B101	m8	看護理論特論(木村以外)⑤⑥	W室		m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥	研2	m1	研究倫理(浅井)①②③	W室	m12	疫学特論(反町)③④	W室		
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥	W室	m38	理学療法基礎科学特論④	研2					m20	神経科学特論(尾崎)③④	W室	m13	統計学基礎(山田)①②	N2					
			m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥	研2					m60	看護教育論(藤本)⑤⑥	W室								
			m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥	W室															
			m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	B102															
6/10		6/11		6/12		6/13		6/14		6/15		6/16								
m6	看護研究方法論(角濱)⑤	W室	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥	B101	m3	Evidence-based Practice概論(ミナリク)③④	W室	m3	Evidence-based Practice概論(ミナリク)③④	W室	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥	研2	m23	公衆衛生学特論(大久保)①②③	研2	m12	疫学特論(反町)③④	研2
			m38	理学療法基礎科学特論④	研2	m8	看護理論特論(木村以外)⑤⑥	研2	m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室	m8	看護理論特論(木村以外)⑤⑥	W室	m29	国際保健学(黒岩)①②③④	W室	m13	統計学基礎(山田)①②	研2
			m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥	研2										m54	実践看護学特論Ⅰ②③	研究室			
			m60	看護教育論(ミナリク)③④	W室															
6/17		6/18		6/19		6/20		6/21		6/22		6/23								
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥	W室	m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤⑥	B101		m20	神経科学特論(神成)③④	W室	m3	Evidence-based Practice概論(角濱)⑤⑥	W室	m23	公衆衛生学特論(大西)①②③	W室					
			m38	理学療法基礎科学特論④	研2		m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤⑥	研2	m12	疫学特論(反町)④⑤⑥	研2					
			m39	理学療法基礎科学演習⑤⑥	研2					m20	神経科学特論(神成)③④	W室								
			m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント⑤⑥	W室															
6/24		6/25		6/26		6/27		6/28		6/29		6/30								
			m11	社会福祉学研究特論Ⅲ(ソーシャルワーク研究)(児玉)⑤	B101		m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥	W室	m10	社会福祉学研究特論Ⅱ(制度・政策研究)⑤	研2	m54	実践看護学特論Ⅰ②③	研究室	m12	疫学特論(反町)①②③	研2		
			m38	理学療法基礎科学特論④	研2		m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	研2	m60	看護教育論(藤本)⑤⑥	W室								
			m39	理学療法基礎科学演習⑤	研2					m20	神経科学特論(神成)③④	W室								
			m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント⑤⑥	W室															
			m6	看護研究方法論(角濱)⑥	N2															

6月

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日							
7/1		7/2		7/3		7/4		7/5		7/6		7/7							
m6	看護研究方法論(角濱)⑤⑥	W室	m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント⑤⑥	W室			m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室	m60	看護教育論(藤本)⑤⑥	W室	m23	公衆衛生学特論(大久保)①②③	研2			
											m20	神経科学特論(神成)③④	W室	m16	健康行動科学特論(赤松)②③④⑤	W室			
														m29	国際保健学(押谷)②③④	N2			
7/8		7/9		7/10		7/11		7/12		7/13		7/14							
			m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント (指導教員と院生が日程調整後 決定)	W室			m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室	m60	看護教育論(藤本)⑤⑥	W室	m5	学術英語読解(木村)①	N2	m5	学術英語読解(木村)①②	N2
											m20	神経科学特論(尾崎)③④	W室	m60	看護教育論(小山)①②③④	W室			
														m29	国際保健学(三好)①②③④	研2			
7/15		7/16		7/17		7/18		7/19		7/20		7/21							
m54	実践看護学特論Ⅰ(芳賀)②③	研2	m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント (指導教員と院生が日程調整後 決定)	W室			m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室	m60	看護教育論(藤本)⑤⑥	W室				m5	学術英語読解(木村)①②	N2
	海の日		m54	実践看護学特論Ⅰ(芳賀)②③	研2									博士論文中間発表会 (3月修了) 修士論文・博士論文公开发表会 (9月修了)					
7/22		7/23		7/24		7/25		7/26		7/27		7/28							
			m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント⑤⑥	W室			m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	W室			m15	健康情報論(中山健夫)①②③	W室				
													m5	学術英語読解(木村)①②	N2				
7/29		7/30		7/31															
			m53	アドバンスト・ヘルスアセスメント④⑤⑥	W室														
			m54	実践看護学特論Ⅰ④(北澤)⑤(澁谷)	研2														

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日			
						8/1		8/2		8/3		8/4			
						m64	機能看護学演習Ⅱ⑤⑥	w室		m16	健康行動科学特論(中村正和)②③④	w室	m16	健康行動科学特論(中村正和)①②③④	w室
8/5		8/6		8/7		8/8		8/9		8/10		8/11			
								オープンキャンパス				山の日			
8/12		8/13		8/14		8/15		8/16		8/17		8/18			
振替休日(山の日)										m17	保健医療福祉人材育成論(浅田)①②③	w室	m23	公衆衛生学特論(大西)①②③	w室
8/19		8/20		8/21		8/22		8/23		8/24		8/25			
m54	実践看護学特論Ⅰ②③	研究室								m15	健康情報論(大西)①②	w室			
8/26		8/27		8/28		8/29		8/30		8/31					
m19	病態生理学特論①②③④	w室	m19	病態生理学特論①②③④	w室	m19	病態生理学特論①②③④	w室	m19	病態生理学特論①②③	w室	m15	健康情報論(中山和弘)①②③	w室	
												m17	保健医療福祉人材育成論(浅田)④⑤	w室	

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日							
		10/1		10/2		10/3		10/4		10/5		10/6							
										m28	健康危機管理論(加来)①②③	W室	m28	健康危機管理論(加来)①②	W室				
										m14	疫学・統計解析演習(山田)④⑤	W室	m14	疫学・統計解析演習(山田)③④	W室				
													m17	保健医療福祉人材育成論(吉池)①②③	研2				
10/7		10/8		10/9		10/10		10/11		10/12		10/13							
		m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m55	実践看護学特論Ⅱ②③	研2	m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(鄭)⑤⑥	W室	大学祭					
					m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室			m36	社会福祉学特論Ⅳ(貧困・生活困窮者対策特論)③④	R101							
10/14		10/15		10/16		10/17		10/18		10/19		10/20							
m24	健康政策学特論(星)①②③	W室	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m63	機能看護学演習Ⅰ⑤⑥(鄭)	W室	m2	質的研究方法論⑤(佐藤)	研2	m14	疫学・統計解析演習(山田)⑤⑥	W室		
10月 体育の日			m47	応用栄養学特論④	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室				m36	社会福祉学特論Ⅳ(貧困・生活困窮者対策特論)③④	R101	m31	地域保健学演習①②③④	研2		
			m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2	m62	機能看護学特論Ⅱ⑤⑥(鄭)	研2								大学院入試第1期			
10/21		10/22		10/23		10/24		10/25		10/26		10/27							
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m47	応用栄養学特論④	研2	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m55	実践看護学特論Ⅱ②③	研2	m2	質的研究方法論④⑤(鳴井)	研2			m14	疫学・統計解析演習(大西)①②③	W室
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室	m63	機能看護学演習Ⅰ⑤⑥(鄭)	W室	m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(鄭)⑤⑥	研2					
m58	看護管理学⑤⑥	W室	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m62	機能看護学特論Ⅱ⑤⑥(鄭)	研2				m36	社会福祉学特論Ⅳ(貧困・生活困窮者対策特論)③④	R101					
			即位礼正殿の儀									m14	疫学・統計解析演習(大西)⑤⑥	W室					
10/28		10/29		10/30		10/31													
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m63	機能看護学演習Ⅰ⑤⑥(鄭)	W室								
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m47	応用栄養学特論④	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室											
m58	看護管理学⑤⑥	W室	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2	m62	機能看護学特論Ⅱ⑤⑥(鄭)	研2											

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日								
								11/1		11/2		11/3								
								m7	看護倫理学(大西香代子)③④⑤	W室	m7	看護倫理学(大西香代子)③④	研2	m14	疫学・統計解析演習(山田)②③	W室				
								m2	質的研究方法論③④(大川)	研2	m31	地域保健学演習①②	研2							
								m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(鄭)⑤⑥	研2	m14	疫学・統計解析演習(山田)⑤⑥	W室	文化の日						
								m36	社会福祉学特論IV(貧困・生活困窮者対策特論)③④	研2										
11/4		11/5		11/6		11/7		11/8		11/9		11/10								
振替休日(文化の日)		m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室	m36	社会福祉学特論IV(貧困・生活困窮者対策特論)③④	研2	m31	地域保健学演習①②③	研2	m17	保健医療福祉人材育成論(廣森)①②③	W室	
		m47	応用栄養学特論④	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室				m14	疫学・統計解析演習(大西)⑤⑥	W室	m14	疫学・統計解析演習(大西)④⑤⑥	W室	m31	地域保健学演習①②③	研2	
		m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2																
11/11		11/12		11/13		11/14		11/15		11/16		11/17								
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(小山)②③④	W室	m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(小山)①	W室	m28	健康危機管理論(加来)①②③	W室	m28	健康危機管理論(加来)①②	W室
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m47	応用栄養学特論④	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室				m36	社会福祉学特論IV(貧困・生活困窮者対策特論)③④	研2	m7	看護倫理学(福井)②③	研2			
m58	看護管理学⑤⑥	W室	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2	m62	機能看護学特論II⑤⑥(鄭)	研2												
11/18		11/19		11/20		11/21		11/22		11/23		11/24								
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤⑥	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室	m14	疫学・統計解析演習(吉池)⑤⑥	W室	m24	健康政策学特論(野村)①②③	W室			
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m47	応用栄養学特論④	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤⑥	W室				m2	質的研究方法論④⑤(佐藤)	研2						
m58	看護管理学⑤⑥	W室	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2							m36	社会福祉学特論IV(貧困・生活困窮者対策特論)③④	研2	勤労感謝の日 推薦入試					
11/25		11/26		11/27		11/28		11/29		11/30										
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m18	人体機能解剖学特論(鈴木)⑤	W室	m44	理学療法地域展開科学特論④	W室	m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室	m14	疫学・統計解析演習(吉池)⑤⑥	W室	m16	健康行動科学特論(赤松)③④⑤	W室			
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m30	精神保健学演習②③	研2	m45	理学療法地域展開科学演習⑤	W室				m36	社会福祉学特論IV(貧困・生活困窮者対策特論)④	研2						
m58	看護管理学⑤⑥	W室				m62	機能看護学特論II⑤⑥(鄭)	研2												
m55	実践看護学特論II(石川)②③	研2																		

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日								
												12/1								
												m14	疫学・統計解析演習(吉池)①②③	W室						
12/2		12/3		12/4		12/5		12/6		12/7		12/8								
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m26	ヘルスプロモーション特論(島内)③④⑤	W室	m26	ヘルスプロモーション特論(島内)①②③	W室	m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室	m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(鄭)⑤⑥	W室	m4	Evidence-based Practice特論(八重)①②③④	W室	m24	健康政策学特論(星)①②③	W室
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2													m31	地域保健学演習①②③	研2			
m58	看護管理学⑤⑥	W室																		
12/9		12/10		12/11		12/12		12/13		12/14		12/15								
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m47	応用栄養学特論④	研2	m62	機能看護学特論II⑤⑥(鄭)	研2	m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室				m24	健康政策学特論(野村)①②③	W室	m14	疫学・統計解析演習(吉池)①②③	W室
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2										m24	健康政策学特論(竹林)④⑤⑥	W室			
m58	看護管理学⑤⑥	W室													m25	保健・医療・福祉サービスマネジメント(鄭)④⑤⑥				
m55	実践看護学特論II②③	研究室																		
m47	応用栄養学特論④	W室																		
12/16		12/17		12/18		12/19		12/20		12/21		12/22								
m42	理学療法健康・スポーツ科学特論④	研2	m47	応用栄養学特論④	研2			m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室				m26	ヘルスプロモーション特論(反町)①②③④	研2				
m43	理学療法健康・スポーツ科学演習⑤⑥	研2	m48	応用栄養学演習⑤⑥	研2									m26	ヘルスプロモーション特論(古川)⑤⑥	研2				
m58	看護管理学⑤	W室																		
m55	実践看護学特論II(石川)②③	研2																		
12/23		12/24		12/25		12/26		12/27		12/28		12/29								
m55	実践看護学特論II②③	研究室																		
												年末年始		年末年始						
12/30		12/31																		
年末年始		年末年始																		

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名 【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日				
1/1		1/2		1/3		1/4		1/5		1/6		1/7				
				年末年始		年末年始		年末年始								
1/6		1/7		1/8		1/9		1/10		1/11		1/12				
				m62	機能看護学特論II⑤⑥(鄭)	研2	m55	実践看護学特論II②③	研究室	m24	健康政策学特論(吉池)④⑤⑥	W室	m17	保健医療福祉人材育成論(吉池)①②	研2	
							m63	機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室		m26	ヘルスプロモーション特論(古川)①②③	研2	m4	Evidence-based Practice特論(小池)①②③	W室
1/13		1/14		1/15		1/16		1/17		1/18		1/19				
成人の日						m63		機能看護学演習I⑤⑥(鄭)	W室	大学入試センター試験 ※大学敷地内全域立入禁止		大学入試センター試験 ※大学敷地内全域立入禁止				
1/20		1/21		1/22		1/23		1/24		1/25		1/26				
										m28	健康危機管理論(大西)①②③	W室	m28	健康危機管理論(大西)①②	W室	
1/27		1/28		1/29		1/30		1/31								

○2019年度授業時間割【 大学院 博士前期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
2 月							2/1	2/2
		2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9
							大学院入試第2期	修士論文公開審査会 (3月修了)
		2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16
			建国記念の日 博士論文中間発表会 (9月修了) 博士論文公開発表会 (3月修了)					
		2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23
								天皇誕生日
		2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29	
		振替休日(天皇誕生日)	一般入試前期日程					

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名 【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月			火			水			木			金			土			日		
																	6/1			6/2		
		6/3			6/4			6/5			6/6			6/7			6/8			6/9		
																	d4 看護学研究特論(坂下玲子)①②③④ #2			d4 看護学研究特論(坂下玲子)①②③ #2		
		6/10			6/11			6/12			6/13			6/14			6/15			6/16		
		6/17			6/18			6/19			6/20			6/21			6/22			6/23		
		6/24			6/25			6/26			6/27			6/28			6/29			6/30		
6月																						

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

	月	火	水	木	金	土	日
	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
	7/8	7/9	7/10	7/11	7/12	7/13	7/14
	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
7 月	海の日					博士論文中間発表会 (3月修了) 修士論文・博士論文公开发表会 (9月修了)	
	7/22	7/23	7/24	7/25	7/26	7/27	7/28
	7/29	7/30	7/31				

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
8 月					8/1	8/2	8/3	8/4
		8/5	8/6	8/7	8/8	8/9	8/10	8/11
						オープンキャンパス		山の日
		8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
		振替休日(山の日)						
		8/19	8/20	8/21	8/22	8/23	8/24	8/25
		8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	
							d2 保健・医療・福祉研究特論 (出張) 9~12時	研2

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

月		火		水		木		金		土		日		
												9/1		
												d 2	保健・医療・福祉研究特論 (吉池) 9~12時、(反町) 13~16時	研2
9/2		9/3		9/4		9/5		9/6		9/7		9/8		
												d 2	保健・医療・福祉研究特論 (古川) 13~16時	研2
9/9		9/10		9/11		9/12		9/13		9/14		9/15		
												d 2	保健・医療・福祉研究特論 (上泉) 9~12時、(大山) 13~16時	研2
9/16		9/17		9/18		9/19		9/20		9/21		9/22		
敬老の日												d 2	保健・医療・福祉研究特論 (三好) 9~12時、(大西) 13~16時	研2
9/23		9/24		9/25		9/26		9/27		9/28		9/29		
秋分の日														
9/30														

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
			10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6
		10/7	10/8	10/9	10/10	10/11	10/12	10/13
							大学祭	大学祭
		10/14	10/15	10/16	10/17	10/18	10/19	10/20
10 月		体育の日					大学院入試第1期	修士論文中間発表会 (3月修了)
	10/21	10/22	10/23	10/24	10/25	10/26	10/27	
		即位礼正殿の儀						
	10/28	10/29	10/30	10/31				

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
11 月						11/1	11/2	11/3
								文化の日
		11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10
		振替休日 (文化の日)						
		11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17
		11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24
							勤労感謝の日 推薦入試	
	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30		

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
12 月								12/1
		12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8
		12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15
		12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21	12/22
		12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29
							年末年始	年末年始
		12/30	12/31					
		年末年始	年末年始					

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

	月	火	水	木	金	土	日	
			1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	
			年末年始	年末年始	年末年始			
	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	
	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18	1/19	
1 月	成人の日					大学入試センター試験 ※大学敷地内全域立入禁止	大学入試センター試験 ※大学敷地内全域立入禁止	
	1/20	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	
	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31			

○2019年度授業時間割【 大学院 博士後期課程 】

授業時間帯 ①10:20~11:50 ② 12:40~14:10 ③14:20~15:50 ④16:00~17:30 ⑤17:40~19:10 ⑥19:20~20:50 (1コマあたり90分)

教室名【研2】…研修室2 【W室】…WEBラーニング室 【N1】…N講義室1 【N2】…N講義室2

		月	火	水	木	金	土	日
2 月							2/1	2/2
		2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9
							大学院入試第2期	修士論文公開審査会 (3月修了)
		2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15	2/16
			建国記念の日 博士論文中間発表会 (9月修了) 博士論文公開発表会 (3月修了)					
		2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23
								天皇誕生日
	2/24	2/25	2/26	2/27	2/28	2/29		
	振替休日(天皇誕生日)	一般入試前期日程						

別表 7

博士前期課程 CNS コース、修士（社会福祉学）を選択する者以外の者（平成29年度以降に入学する学生）

				授業科目の名称	配当年次	単位数	備考	
授 業 科 目 の 概 要 目 覧	基 盤 科 目	一	研 究 基 礎 目 群	共通研究基礎科目	研究倫理	1 前	1	<必要単位> 基盤科目から6単位以上 ※ただし、修士（看護学）を希望する者は「看護研究方法論」「看護倫理学」「看護理論特論」から2科目4単位以上必修
				質的研究方法論	1 後	1		
				Evidence-based Practice概論	1 前	1		
				Evidence-based Practice特論	1 後	1		
				学術英語読解	1 前	2		
			専 門 研 究 基 礎 目 群	看護研究方法論	1 前	2		
				看護倫理学	1 後	2		
				看護理論特論	1 前	2		
				社会福祉学研究特論Ⅰ（理論・歴史研究）	1 前	2		
				社会福祉学研究特論Ⅱ（制度・政策研究）	1 前	2		
			生 命 科 学 ・ 生 理 学 科 目 群	社会福祉学研究特論Ⅲ（ソーシャルワーク研究）	1 前	2		
				人体機能解剖学特論	1 後	2		
				病態生理学特論	1 前	2		
				神経科学特論	2 前	2		
				生化学特論	1 前	1		
			疫 学 ・ 統 計 学 科 目 群	分子生物学特論	1 前	1		
				疫学特論	1 前	2		
				統計学基礎	1 前	1		
			ヘル ス リ テ ラ ン ス 科 目 群	疫学・統計解析演習	1 後	2		
				健康情報論	1 前	2		
健康行動科学特論	1	2						
				保健医療福祉人材育成論	1	2		

授業科目の名称				配当年次	単位数	備考	
授 業 科 目 の 概 要	専 門 科 目	一	マ ネ ジ メ ン ト モ ジ ュ ー ル 保 健 ・ 福 祉 政 策	公衆衛生学特論	1 前	2	<必要単位> モジュール科目から8単位以上
			健康政策学特論	1 後	2		
			保健・医療・福祉サービスマネジメント	1 後	2		
			ヘルスプロモーション特論	1 後	2		
			ヘルスプロモーション演習	2 前	2		
			健康危機管理論	1 後	2		
			国際保健学	2 前	2		
			精神保健学演習	1 後	2		
			地域保健学演習	1 後	1		
			専 門 科 目	二	I 実 践 看 護 学	臨床病態生理学特論	
	臨床薬理学特論	1 前			2		
	アドバンスト・ヘルスアセスメント	1 前			2		
	実践看護学特論I	1 前			2		
	実践看護学特論II	1 後			2		
	実践看護学演習I	1 後			2		
	実践看護学演習II	2 前			2		
	II 機 能 看 護 学	看護管理学			1 後	2	
		看護コンサルテーション			1 前	2	
		看護教育論			1 前	2	
		機能看護学特論I	1 前	2			
機能看護学特論II		1 後	2				
機能看護学演習I		1 後	2				
機能看護学演習II	2 前	2					
モ ジ ュ ー ル 社 会 福 祉 学	基礎社会学特論（地域社会学特論・家族社会学特論）	1	4				
	社会福祉学特論 I（地域福祉特論）	2 前	2				
	社会福祉学特論 II（精神保健福祉特論・福祉心理学特論）	2 前	4				
	社会福祉学特論 III（高齢者福祉特論・地域包括ケア特論）	1 後	4				
	社会福祉学特論 IV（貧困・生活困窮者対策特論）	1 後	2				
	社会福祉学特論 V（医療福祉・精神障害者福祉特論）	2 前	4				
モ ジ ュ ー ル 理 学 療 法 科 学	理学療法基礎科学特論	1 前	1				
	理学療法基礎科学演習	1 前	1				
	理学療法臨床科学特論	1 前	1				
	理学療法臨床科学演習	1 前	1				
	理学療法健康・スポーツ科学特論	1 後	1				
	理学療法健康・スポーツ科学演習	1 後	1				
	理学療法地域展開科学特論	1 後	1				
	理学療法地域展開科学演習	1 後	1				
モ ジ ュ ー ル 栄 養 ・ 食 品 学	食品栄養学特論	1 前	1				
	応用栄養学特論	1 後	1				
	応用栄養学演習	1 後	1				
	健康栄養科学特論	1 後	2				
	健康栄養科学演習	2 前	2				
特別研究				2	8	8 単位必修	
その他基盤科目、専門科目				1～2	8	8 単位以上	
計					30		

博士前期課程 修士（社会福祉学）を選択する者（平成29年度以降に入学する学生）

授業科目の名称		配当年次	単位数	備考	
授 業 科 目	基 盤 科	研究倫理	1 前	1	5 単位必修
		Evidence-based Practice概論	1 前	1	
		統計学基礎	1 前	1	
		学術英語読解	1 前	2	
		質的研究方法論	1 後	1	
		Evidence-based Practice特論	1 後	1	2 単位選択
	保健医療福祉人材育成論	1	2		
	目	社会福祉学研究特論Ⅰ（理論・歴史研究）	1 前	2	2 単位選択
		社会福祉学研究特論Ⅱ（制度・政策研究）	1 前	2	
		社会福祉学研究特論Ⅲ（ソーシャルワーク研究）	1 前	2	
の 専 門 科	社会福祉学モ ジュール	基礎社会学特論（地域社会学特論・家族社会学特論）	1	4	10 単位選択
		社会福祉学特論Ⅰ（地域福祉特論）	2 前	2	
		社会福祉学特論Ⅱ（精神保健福祉特論・福祉心理学特論）	2 前	4	
		社会福祉学特論Ⅲ（高齢者福祉特論・地域包括ケア特論）	1 後	4	
		社会福祉学特論Ⅳ（貧困・生活困窮者対策特論）	1 後	2	
		社会福祉学特論Ⅴ（医療福祉・精神障害者福祉特論）	2 前	4	
概 目	保健・福祉政策、 マネジメント モジュール	保健・医療・福祉サービスマネジメント	1 後	2	2 単位選択
		精神保健学演習	1 後	2	
要	特別研究		2	8	8 単位必修
	その他基盤科目、専門科目		1～2	1	
	計				30

博士前期課程 CNSコースを選択する者（平成29年度以降に入学する学生）

授業科目の名称		配当年次	単位数	備考	
授業科目	<がん看護学領域>				
	基礎科目	看護研究方法論	1前	2	8単位選択
		看護倫理学	1後	2	
		看護理論特論	1前	2	
	専門	看護管理学	1後	2	
		看護コンサルテーション	1前	2	
		看護教育論	1前	2	
	門	臨床病態生理学特論	1前	2	6単位必修
		臨床薬理学特論	1前	2	
		アドバンスト・ヘルスアセスメント	1前	2	
	科目	がん看護学特論Ⅰ	1前	2	14単位必修
			1後	2	
		がん看護学特論Ⅱ	1前	2	
		がん看護学特論Ⅲ	1後	2	
		がん薬物療法看護論	1後	2	
		がん薬物療法看護演習	1後	2	
		緩和ケア論	1後	2	
		緩和ケア演習	1後	2	
		がん看護学実習Ⅰ	1後	2	
		がん看護学実習Ⅱ	2前	2	
目	がん看護学実習Ⅲ	2	2	10単位必修	
	がん看護学実習Ⅳ	2	2		
	がん看護学実習Ⅴ	2	2		
	課題研究	2	2		
計			40		
の概要	<周産母子看護学領域>				
	基礎科目	看護研究方法論	1前	2	8単位選択
		看護倫理学	1後	2	
		看護理論特論	1前	2	
	専門	看護管理学	1後	2	
		看護コンサルテーション	1前	2	
		看護教育論	1前	2	
	門	母子家族看護学特論	1前	2	10単位必修
		母性看護学特論	1前	2	
		周産母子看護学特論Ⅰ	1後	2	
		周産母子看護学特論Ⅱ	2前	2	
		周産母子看護学演習Ⅱ	1後	2	
	科目	周産母子援助実習	2	6	6単位必修
		課題研究	2	2	2単位必修
		計			26

※CNSコースは高度実践看護師（専門看護師）の認定条件に配慮した科目を設定している。

博士後期課程（平成29年度以降に入学する学生）

		授業科目の名称	配当年次	単位数	備考		
授 業	共通 科目	ヒューマンケア科学特論	1前	2	<必要単位> 共通科目から2単位以上		
		保健・医療・福祉学研究特論	1前	2			
		基礎健康科学研究特論	1前	2			
		看護学研究特論	1前	2			
科 目 の 概 要	専 門	保健シ・ス医療ム・福祉政策領域特別講義 I	1	2	<必要単位> 特別講義 I・II 並びに特別演習および特別研究 14 単位必修		
		保健シ・ス医療ム・福祉政策領域特別講義 II	1～3	2			
		保健シ・ス医療ム・福祉政策領域特別演習	1～2	4			
		保健シ・ス医療ム・福祉政策領域特別研究	1～3	6			
	対 人 ケ ア 領 域 マ ネ ジ メ ン ト	対人ケアマネジメント領域特別講義 I	1	2			
		対人ケアマネジメント領域特別講義 II	1～3	2			
		対人ケアマネジメント領域特別演習	1～2	4			
		対人ケアマネジメント領域特別研究	1～3	6			
	基 礎 研 究 ・ 実 用 技 術 領 域	基礎研究・実用技術領域特別講義 I	1	2			
		基礎研究・実用技術領域特別講義 II	1～3	2			
		基礎研究・実用技術領域特別演習	1～2	4			
		基礎研究・実用技術領域特別研究	1～3	6			
	計					16	

令和元年度 大学院学位授与数

【博士前期課程】

学位の名称	学位授与数		
	R1年9月修了	R2年3月修了	合計
修士（健康科学）	0	1	1
修士（看護学）	0	2	2
修士（社会福祉学）	0	1	1
合計			4

【博士後期課程】

学位の名称	学位授与数		
	R1年9月修了	R2年3月修了	合計
博士（健康科学）	1	2	3
合計			3

【令和2年度大学院入学者選抜結果】

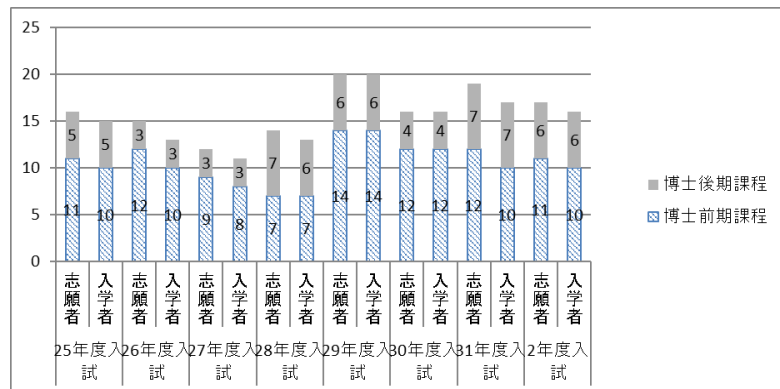
博士前期課程

領域・研究室 【博士前期 定員10名】	志願者	受験者	合格者	入学者	男	女	一般選 抜	社会人 特別選 抜
保健・医療・福祉政策システム領域	6	6	6	6	2	4	5	1
公衆衛生研究室								
精神保健福祉研究室								
看護システム研究室								
リハビリテーションマネジメント研究室	2	2	2	2	1	1	2	
地域保健研究室								
福祉社会政策研究室								
社会的包摂・セーフティプロモーション研究室	1	1	1	1	1		1	
産業保健研究室								
国際地域栄養研究室	1	1	1	1		1		1
健康推進・栄養政策研究室	2	2	2	2		2	2	
対人ケアマネジメント領域	4	4	3	3	0	4	3	1
看護基礎科学研究室	1	1	1	1		1		1
看護治療学研究室								
母性看護学研究室								
学校栄養研究室	1	1	1	1		1	1	
精神看護学研究室								
がん看護学研究室								
実践看護技術研究室	2	2	1	1		2	2	
老年看護学研究室								
生活機能回復支援研究室								
在宅看護学研究室								
リハビリテーション福祉工学研究室								
基礎研究・実用技術領域	1	1	1	1	1	0	1	0
食品高分子研究室								
食品開発・安全学研究室								
運動生理学実験研究室								
ニューロサイエンス研究室								
パーキンソン病研究室								
アンチエイジング・スキンケア研究室								
動作解析・生活支援学研究室	1	1	1	1	1		1	
栄養生命科学研究室								
CNS（専門看護師）コース	0	0	0	0	0	0	0	0
周産母子看護学研究室								
がん看護学研究室								
合計	11	11	10	10	3	8	9	2

博士後期課程

領域・研究室 【博士後期 定員4名】	志願者	受験者	合格者	入学者	男	女
保健・医療・福祉政策システム領域	4	4	4	4	0	4
公衆衛生研究室	1	1	1	1		1
精神保健福祉研究室						
看護システム研究室	1	1	1	1		1
地域保健研究室						
社会的包摂・セーフティプロモーション研究室	1	1	1	1		1
国際地域栄養研究室						
健康推進・栄養政策研究室	1	1	1	1		1
対人ケアマネジメント領域	1	1	1	1	0	1
看護基礎科学研究室	1	1	1	1		1
看護治療学研究室						
母性看護学研究室						
学校栄養研究室						
がん看護学研究室						
実践看護技術研究室						
老年看護学研究室						
リハビリテーション福祉工学研究室						
基礎研究・実用技術領域	1	1	1	1	1	0
食品高分子研究室						
食品開発・安全学研究室						
運動生理学実験研究室	1	1	1	1	1	
ニューロサイエンス研究室						
パーキンソン病研究室						
アンチエイジング・スキンケア研究室						
動作解析・生活支援学研究室						
栄養生命科学研究室						
合計	6	6	6	6	1	5

【参考】平成25年度入試以降の本学大学院志願者・入学者の推移



<備考>

※博士前期課程の入学生定員は、平成26年度入試まで20名、平成27年度入試以降は10名に変更。
 ※博士後期課程の入学生定員は、従来から4名。
 ※平成29年度入試（博士後期課程）において、志願者及び入学者にはそれぞれ再入学1名を含む。
 ※令和2年度入試（博士後期課程）において、志願者及び入学者にはそれぞれ再入学2名を含む。

定員管理と入退学の状況

◆令和元年度学生数（令和元年5月1日）

【健康科学研究科】

（単位：人）

	学年	定員	在籍学生数			
			男	女	小計	計
博士前期課程	1年	10	2	8	10	25
	2年	10	6	9	15	
博士後期課程	1年	4	2	5	7	18
	2年	4	1	3	4	
	3年	4	3	4	7	
計		32	14	29	43	43

◆平成31年度入学生数

【健康科学研究科】

(単位:人)

	入学定員	入学者数	男女別	
			男	女
博士前期課程	10	10	2	8
博士後期課程	4	7	2	5
計	14	17	4	13

◆令和元年度休退学者数

※休学者は、前期または後期を休学した学生で実人数。

【健康科学研究科】

(単位:人)

	休学者数	退学者数	除籍者数
博士前期課程	5	2	0
博士後期課程	3	1	0
合計	8	3	0

図書・情報インフラ

(1)蔵書（令和2年3月31日現在）

①図書

和書（冊）	洋書（冊）	図書合計（冊）	製本雑誌（冊）	合計（冊）
100,881	24,421	125,302	12,127	137,429

②雑誌

和雑誌（種類）		洋雑誌（種類）		受入種類数 （種類）	電子ジャーナル		
購入	寄贈	購入	寄贈		和雑誌 （種類）	洋雑誌 （種類）	合計 （種類）
189	285	4	7	485	1,424	2,234	3,658

③視聴覚資料

ビデオテープ （タイトル）	CD （タイトル）	DVD （タイトル）	CD-ROM （タイトル）	合計
1,474	29	1,371	761	3,635

(2)サービス

①開館時間

通常開館期間		夏季・冬季・春季 休業期間
月曜日～金曜日	第1・3土曜日	月曜日～金曜日
8:45～19:00	10:00～16:00	8:45～17:00

②令和元年度利用状況

開館日数 （日）	入館者数 （人）	貸出冊数 （冊）	一日平均 入館者数（人）	一日平均 貸出冊数（冊）
248	46,047	25,647	186	103

③令和元年度貸出冊数

学生（冊）	教職員（冊）	学外者（冊）	その他（冊）	合計
20,488	2,788	2,317	54	25,647

④令和元年度相互協力

文献複写件数		図書貸借	
受付件数（件）	依頼件数（件）	受付冊数（冊）	依頼冊数（冊）
166	651	39	26

(3) 施設

総面積	1,850 m ²
閲覧席	128 席
自習室	1 室 (15 席)
研究個室	5 室 (5 席)
グループワークルーム	1 室 (21 席)
グループ学習室	2 室 (16 席)
利用者用端末	9 台
視聴覚ブース	2 ブース
メディアスペース	9 席

学 生 生 活

学生への経済的支援

◆令和元年度授業料減免等実施状況

(単位：人)

	学生数	申請者数	採用者数	内訳		
				全額免除	半額免除	徴収猶予のみ
前期	970	92	81	15	66	0
後期	965	94	84	12	72	0
合計（のべ人数）		186	165	27	138	0

◆令和元年度東日本大震災被災学生に対する入学科・授業料減免等実施状況

(単位：人)

	学生数	申請者数	採用者数	内訳	
				入学科全額免除	授業料全額免除
前期	970	12	12	1	12
後期	965	12	12	－	12
合計（のべ人数）		24	24	1	24

◆奨学金受給状況

日本学生支援機構奨学金（第一種、第二種）、新日本学生奨学会、地方公共団体奨学金、民間団体（病院企業等）奨学金、他

日本学生支援機構奨学金受給状況

(単位：人)

貸与種別	学年					大学院	計
	1年生	2年生	3年生	4年生			
学生数	226	238	222	241		43	970
第一種（無利子）	98	99	89	85		0	371
第二種（有利子）	61	73	73	71		0	278
第一種・二種併用	21	24	23	26		0	94
計	180	196	185	182		0	743

就職対策への取組

第18期生（栄養学科第9期生）の就職活動

第18期生（栄養学科第9期生）の就職状況は引き続き高い就職率を達成できました。本学では、就職対策として就職に対する意識を高めるため、以下の事業を行っています。

1 就職活動セミナーの開催

学科・学年・時期に沿って、グループワークやロールプレイングを中心に、キャリアカウンセラー等の外部講師による就職活動セミナーを開催しています。主に、1~2年生は就職活動の全体像を知り、キャリアプランを考え、3年生はビジネスマナーを身につけ、自己分析をし、4年生は応募書類の書き方や面接の受け方等を学びます。

2 就職ガイダンスの開催

各学科の特性に沿った進路指導を行うため、主に2~3年生を対象として卒業生や就職活動を終えた4年生に、就職活動の経験談や進路決定までのスケジュール、これからの学習方法等について具体的に語ってもらいます。学生たちはより身近な情報を吸収し就職意識を高めています。

3 就職合同説明会の開催

より適切なマッチングをするために、病院・社会福祉施設等の人事担当者と学生（主に3年生）が直接面談をする機会として、就職合同説明会を年に3回（春季・夏季・秋季）開催しています。毎年多くの事業所等が参加しており、早期に情報収集をすることでスムーズな就職に結びつけています。

4 その他の支援

その他、「公務員試験対策学内講座」や「ハローワーク出張相談会」など、学科や業種別の講座等も開催しています。

5 事業所訪問

採用促進・新規開拓・卒業生定着を目的として、教職員が病院や社会福祉施設等へ訪問し、採用状況や卒業生の様子、本学に求める要望等を聞いています。様々な情報交換をしながら、学生への進路支援につなげています。

令和元年度メンタルヘルスに関する相談活動

1 保健室におけるメンタルヘルスに関する学生相談数

(1) 月別・学年別相談者のべ人数

(人)

学 年 \ 月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年		2	3	4			6	10	6	7	1		39
2 年		7	1	2	3	1	3		4		2	2	25
3 年	1		1	1		1			1	1			6
4 年	3	2	3	6			1	1		1	2		19
大学院										1			1
その他													0
合 計	4	11	8	13	3	2	10	11	11	10	5	2	90

(2) 理由別相談者数

(人)

相 談 理 由 \ 学 年	1年	2年	3年	4年	大学院	その他	合計
対人関係	3	2	2				7
身体症状	3	3					6
学業・進路・就職	2	3	2	5			12
性格・人格・心理	1	1	1	1			4
その他	2	3		1	1		7
合 計	11	12	5	7	1	0	36

(※一人で複数の相談理由の学生もいる)

2 カウンセラーによる相談数

(1) 月別・学年別相談者のべ人数

(人)

学 年 \ 月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1 年			1				2						3
2 年				2	2		2		1	1	3	2	13
3 年			4				1			1		1	7
4 年	6	3	2	2	3	1	4	2	3	3	4		33
大学院													0
その他	2	1			1	1	2					1	8
合 計	8	4	7	4	6	2	11	2	4	5	7	4	64

(2) 相談理由状況

(人)

相 談 理 由 \ 学 年	1年	2年	3年	4年	大学院	その他	合計
対人関係	1			3		2	6
身体症状	2	3	2	4			11
学業・進路・就職	1	2	2	8			13
性格・人格・心理	1	4	1	1			7
その他				1		2	3
合 計	5	9	5	17	0	4	40

(※一人で複数の相談理由の学生もいる)